

履修の手引

令和2年度

Kindai Univ.
FACULTY OF HUMANITY-ORIENTED SCIENCE AND ENGINEERING
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学 産業理工学部

URL; <https://www.kindai.ac.jp/hose/>

20

校章・学園章について



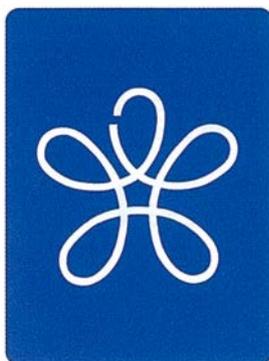
校章

難波津に咲くやこの花冬ごもり

今は春べと咲くやこの花（古今集序）

この古歌にあるように、梅花は本学発祥の地難波にゆかりの深い名花です。この和歌は、昔子供の手習いの初めに学んだ歌で、教育とも深いつながりがあります。厳寒をおかし春にさきがけて、馥郁たる花を開く梅花は百花の兄、その気高い気品と、霜雪にたえる強き操守を愛でて「花も実もある」梅花を、純真な若き学徒の心の象徴として、校章としたものです。

(注)「難波津」は大阪の古名であり「この花」は梅花の雅称です。



学園章

平成2年6月、創立65周年を記念して近畿大学学園のシンボルマークとして学園章が制定されました。

本学の学園花は梅であり「梅花霜雪を経て開く」と云われるとおり～自然の厳しさを経て、春いちばん、品格高き花が咲きひらく～このことを象徴しています。

学園章は、この梅の花弁を、少しほぐしてシンボル化したものです。五つの花弁は大学の「大」の字をかたどり、人間づくりの「人」そのものを表しています。また、五つの花弁の真ん中は大阪を中心に、まわりを九州、広島、兵庫の但馬・豊岡、奈良、紀州と近畿大学所在地の大別五地域を「大」がつなぎ固めている、という象徴的意味を持っています。

さらに上方中央の輪がやや離れている部分は、学園が未来志向の大学であり、内面的に未完なるがゆえに、今後さらに充実・完成を目指し、努力を傾けていく姿勢を示したものであります。

極めて簡潔に、一本のつよい曲線の連続によって描かれています。

教育の目的は

人に愛される人

信頼される人

尊敬される人

を育成することにある。



学部長 井原 徹

新入生の皆さんへ

産業理工学部 学部長 井原 徹

大学では皆さんが主体的に自ら学ぶということを基本にしています。私たち教職員は皆さんが大学生活を有意義に過ごせるように努力していますが、皆さんには一人一人が主役となり、自ら意義ある大学生活にしていくことが求められているのです。皆さんの自主性が尊重されるとともに、責任をもつことも要求されます。

「履修の手引」には各学科の教育目標、進級ならびに卒業の要件、開講科目の一覧などがあります。なおシラバスは産業理工学部のHPからも見る事ができるので、各自閲覧し、疑問に思う点があれば担当教員に相談して下さい。履修方法を誤ったために進級できなくなるといった事態を招くことがないように、卒業後の進路を考えながら履修計画を立てて下さい。

教職員一同、本学部での大学生活が楽しく、実り多いものとなることを願っております。

沿革

- 大正 14 年 大阪専門学校設立
- 昭和 18 年 大阪理科大学設立
- 昭和 24 年 近畿大学設立（新学制により上記 2 学を合併）
- 昭和 40 年 第二工学部校舎本館 1 号館竣工
- 昭和 41 年 第二工学部一部（工業化学科、建築学科、電気工学科）、二部（工業化学科、建築学科）設置
- 昭和 42 年 2 号館竣工
- 昭和 43 年 高電圧実験室竣工
- 昭和 45 年 体育館竣工
- 昭和 46 年 クラブハウス竣工
- 昭和 50 年 学生食堂竣工
- 昭和 52 年 建築構造実験室竣工
- 昭和 59 年 木材加工工作室竣工
- 昭和 60 年 第二工学部を九州工学部に学部名変更
- 昭和 61 年 学生駐輪場竣工
- 昭和 62 年 産業デザイン学科、経営工学科設置
- 昭和 62 年 3 号館竣工、第 2 クラブハウス竣工、有害物質処理室、図書館・電算機棟竣工
- 昭和 63 年 建築材料実験計測室竣工
- 平成 2 年 第二学生食堂、学生駐車場竣工
- 平成 4 年 大学院産業技術研究科修士課程（物質工学専攻、電子情報工学専攻）設置
- 平成 6 年 大学院産業技術研究科博士課程（物質工学専攻、電子情報工学専攻）、大学院産業技術研究科・修士課程（造形学専攻、経営工学専攻）設置
- 平成 6 年 バウヒュッテ、建築学科環境実験室竣工
- 平成 8 年 大学院産業技術研究科（造形学、経営工学）博士課程設置、第 2 学生駐車場増設
- 平成 10 年 5 号館竣工
- 平成 11 年 電気工学科を電気情報工学科に名称変更
- 平成 12 年 工業化学科を生物環境化学科に、経営工学科を経営情報学科に名称変更
- 平成 13 年 分子工学研究所（ヘンケル先端技術リサーチセンター）竣工
- 平成 13 年 附属福岡高校、九州工学部キャンパスへ移転
- 平成 16 年 九州工学部を産業理工学部（生物環境化学科、電気通信工学科、建築・デザイン学科、情報学科、経営コミュニケーション学科）に改組
- 平成 19 年 分子工学研究所（JSR 機能材料リサーチセンター）竣工
- 平成 20 年 経営コミュニケーション学科を経営ビジネス学科に名称変更
- 平成 20 年 学生食堂竣工
- 平成 21 年 硬式野球部創部
- 平成 21 年 硬式野球部トレーニングセンター竣工
- 平成 25 年 産業理工学研究科修士課程（産業理工学専攻）設置
- 平成 27 年 産業理工学部地域連携研究センター設置
- 平成 27 年 産業理工学研究科博士課程（産業理工学専攻）設置
- 平成 28 年 電気通信工学科を電気電子工学科に名称変更
- 平成 28 年 創立 50 周年記念式典

産業理工学部卒業生の総数（令和 2 年 3 月末現在） 17,357 名

◇ 目 次 ◇

事務部学生関係業務

近畿大学・産業理工学部教育方針

[I] 履修の手引

学園・学部・学科の目標	1
1. 履修規定	
1.1 はじめに	6
1.2 学年次	6
1.3 卒業要件	6
1.4 進級の条件	7
1.4.1 3年次進級の条件	7
1.4.2 4年次進級の条件	8
1.5 授業について	8
1.5.1 授業科目の構成	8
1.5.2 授業形態	8
1.5.3 受講制限	9
1.5.4 クラス編成	9
1.5.5 授業時間と単位数	9
1.5.6 休講と補講	9
1.5.7 出席の重要性について	9
1.5.8 欠席について	9
1.6 履修から単位修得までの手順	9
1.6.1 履修の種類	9
1.6.2 履修手続き (Web履修登録)	10
1.6.3 履修に関する注意事項	12
1.6.4 履修届の変更・修正	12
1.6.5 履修相談	12
1.6.6 受講者心得	12
1.6.7 留学生の教養教育科目 (外国語科目群) の履修に関する注意事項	12
1.6.8 レポートにおける剽窃 (盗用) 行為 (plagiarism) について	12
1.7 試験	13
1.7.1 試験の種類	13
1.7.2 定期試験	13
1.7.3 試験期間	13
1.7.4 受験者心得	13
1.7.5 追試験制度について	14
1.7.6 追試験の申請	14
1.7.7 再試験制度について	14
1.7.8 再試験の受験資格と受験上の注意	14
1.8 成績の評価と通知	15
1.8.1 成績の評価	15
1.8.2 成績通知の手順	15
1.8.3 成績照会	15

1.8.4	進級判定	15
1.8.5	卒業判定	15
1.9	表彰および懲罰	15
1.9.1	表彰	15
1.9.2	懲罰	15
1.10	連絡窓口	16
1.10.1	休学など	16
1.10.2	学生への連絡	16
1.10.3	大学への連絡	16
1.10.4	事務窓口・取扱時間	16
1.11	GPA（Grade Point Average）制度について	17
2.	授業科目一覧	19
2.1	教養・基礎教育部門総括表	20
2.2	生物環境化学科総括表	22
2.3	電気電子工学科総括表	30
2.4	建築・デザイン学科総括表	38
2.5	情報学科総括表	44
2.6	経営ビジネス学科総括表	52
2.7	インターンシップ	59
3.	教職課程	
3.1	教職課程の目的	65
3.2	教員免許状の種類	65
3.3	受講手続き	65
3.4	授業科目	65
3.5	所要資格と修得単位数	66
3.6	教科及び教科の指導法に関する科目とその履修方法	66
3.7	教職課程で履修しなければならない必修科目	66
3.8	教育の基礎的理解に関する科目等とその履修方法	66
3.9	教育実習について	72
3.10	その他、教職課程に関する履修上の注意事項	75
4.	転学部および転学科、大学院進学	77
5.	進路対策講座等および卒業後の進路	79
5.1	進路対策および資格取得対策講座	79
5.2	キャリア教育	80
[II]	附属施設利用の手引	
[II-1]	図書館	83
[II-2]	電算機センター	84
[III]	配置図	87

事務部学生関係業務

学生支援課

教務係

教務係は、皆さんの科目履修、授業、試験、成績など主として教育面の調査、企画、立案、推進をはかることを業務としています。

教務係の主な業務は次のとおりです。

- 在学、成績、卒業など各種証明書発行
- 授業の履修登録および履修指導
- 学生の成績記録および管理
- 授業の休講・補講・時間割変更・教室変更等
- 教室の使用管理
- 定期試験（前期および後期試験）の実施
- 入学・進級・留年・卒業
- 転学部・転学科
- 教職課程
- 大学院産業理工学研究科

就職係

就職係は、就職・進路全般についての窓口です。ここでは、就職の指導・紹介・求人受付・就職の資料収集統計・就職希望者の登録等就職に関するすべての業務を行っています。また学生の就職支援について、教員との連携を図るために就職対策委員会を設置しています。

就職係の主な業務は、次のとおりです。

- 学生の就職指導及び紹介
- 就職希望者の登録及び調査
- 就職資料収集及び統計
- インターンシップ
- 卒業生の就職後の情報収集
- 就職先の新規開拓
- その他学生の就職
- 就職対策委員会

学生係

学生係は、学生生活全般についての窓口です。

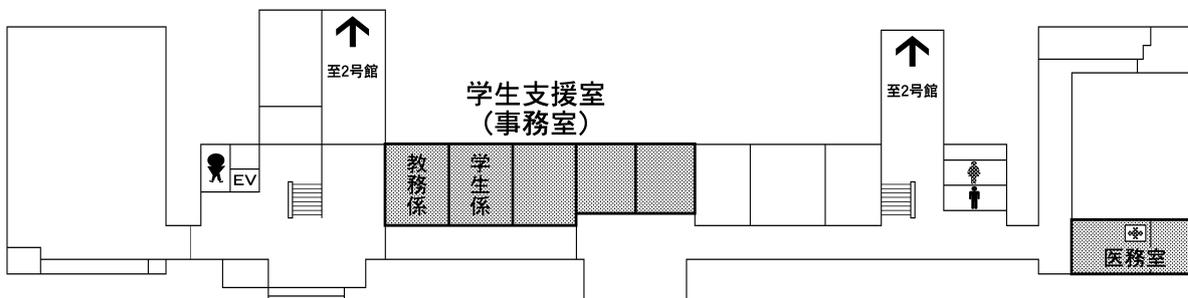
ここでは学生の課外活動、健康管理、奨学金、福利厚生、その他学生生活に関する相談に応じています。また学生生活の充実をはかるために、学生厚生補導に関する重要事項の審議機関として学生支援委員会が設置されています。

学生係の主な業務は次のとおりです。

- 休学、復学、退学、除籍等学生の身分
- 学友会活動
- 課外活動（各種団体結成、集会、対外試合、合宿、施設備品使用、印刷物の発行・配布、掲示）
- 学費（延納・分納）
- 学生補導、家庭との連絡
- 学生の個人相談
- 学生実態調査
- 学生証の発行
- 通学定期、学割の証明
- 健康管理
- 奨学金
- 寮等の紹介
- 学生健保共済会
- 学生支援委員会
- 学生の賞罰
- 学生の郵便物、遺失物、拾得物
- 学生のアルバイト指導及び紹介
- その他学生一般

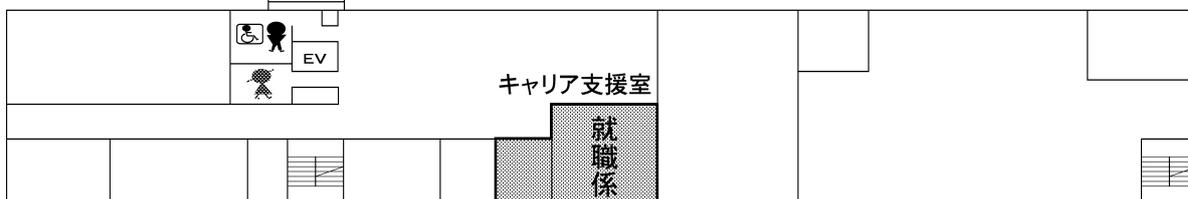
1号館

1F



3号館

1F



近畿大学教育方針

【カリキュラムポリシー】（教育課程の編成方針）

本学は、「建学の精神」と「教育理念」を実現するために、「共通教育科目」と「専門教育科目」を2本柱として、各学部学科の特色を生かしたカリキュラムを提供します。また、ボランティア、インターンシップ、各種資格取得講座などのプログラムを展開し、全教職員が、学生の学問的、人間的成長とキャリア形成を支援します。

さらに、生涯学習社会実現のために、学生と社会人と教員が共に学び合う機会を提供します。

- 1 入学者の基礎学力の確認と向上を図るプログラムを提供します。
- 2 専門教育に携わっている教員が教養教育（共通教育科目）に参加して、実学（専門教育）と教養の運動ないし融合を視野に入れた授業を提供します。
- 3 「専門教育科目」においては、社会のニーズに対応できる教養に裏打ちされた専門性を高める工夫を進めます。また、必要に応じて他学部との単位互換制度等を活用し、複眼的な専門性の育成に努めます。
- 4 さまざまな国際分野で活躍できる人材を養成するために、国際スタンダード教育への参加を進めます。
- 5 産学連携を推進し、生きた実学教育の充実を図ります。
- 6 社会人の学びの場（リカレント教育）を充実し、生涯学習社会の実現に貢献します。
- 7 学生の資格取得のために、学部横断的な取り組みを展開します。
- 8 ボランティア、インターンシップ、留学制度等を充実し、学生が地域社会、国際社会において意味のある学びを体験できるよう努めます。

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）

本学は、「建学の精神」と「教育理念」に基づいて、「深い教養と高い志をもち、社会を支える気概をもった学生を育成し、社会に送り出すことを最終教育目標」としています。厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

- 1 大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること。
- 2 問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を修得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること。
- 3 専門領域における課題の意味を、広い歴史観や深い人間観の中で位置づけようとする教養を、身に付けていること。
- 4 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること。

産業理工学部教育方針

【カリキュラムポリシー】（教育課程の編成方針）

産業理工学部の教育理念である「技術に偏らず、人間と社会を常に意識して活躍できる職業人を育成する」ことを実現するため、以下のようなカリキュラムを設置しています。

〈教養・基礎教育〉

各学科で学ぶ専門的な知識と両輪をなす基礎的な知識と社会生活における幅広い教養を修得するため、次の五つの科目群を設置しています。

人間性・社会性科目群

国際性・地域性科目群

課題設定・問題解決科目群

スポーツ・表現活動科目群

外国語科目群

これらの科目群における各科目では、生きること、学ぶこと、働くことなど、これから迎える社会生活の最も基本的な事柄を体験していきます。すなわち、社会における倫理の問題、国際化とそれともなう異なる文化の理解、自らを表現するための論理的な思考法や母国語としての日本語、さらにコミュニケーションツールとしての語学、こうした科目群を学ぶことによりそれぞれのゆたかな人格を形成します。

〈専門科目〉

初年度に少人数の基礎ゼミを設けて自律的な学修態度への転換を図り、専門教育にスムーズに移行できるように配慮しています。各学科で設定された人材育成目標に沿って科目群を編成しています。講義だけではなく豊富な実験・実習、演習科目を通して専門に関する知識や技能を修得し、実践力を養成します。

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）

産業理工学部では「自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想をもった教養ある社会人を育成すること」を教育目標としており、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。これらの趣旨のもとに開講された科目を履修して、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（工学）あるいは学士（経営ビジネス学）の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

- 1 近畿大学の教育理念にかなう「人に愛され、信頼され、尊敬される」人であるべきことを常に心掛け、自己の向上に努める態度を身につけること。
- 2 技術に偏らず、人間と社会を常に意識し、自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想を身につけること。
- 3 21世紀社会の課題に応えられる教養ある社会人としての能力を身につけること。



履修の手引

学園・学部・学科の目標

近畿大学学園の「建学の精神」と「教育の目的」

近畿大学学園の建学の精神は、「実学教育と人格の陶冶」です。この建学の精神を具体的に実践するために「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育理念に掲げています。

この建学精神と教育理念に基づいて、「広い教養に裏打ちされた人格とチャレンジ精神をもって未来を志向しつつ、実践的学問すなわち実学の発展に貢献することのできる人材を育成」して、社会に送り出すことに全力で取り組んでいます。

本学の各学部・大学院及び各学校は、それぞれの人材育成目標に沿って、特色あるカリキュラムを用意し、充実した教授陣が、質の高い教育を提供しています。

学生の皆さんには、上記の建学精神と教育理念を理解していただき、本学園で、本当に優れた友人・先輩・教員や夢中になれる学問に出会い、美しいものに心打たれ、豊かな教養と専門的知識を身につけ、各人固有の才能を見出し、自分に最もふさわしい将来設計をされることを願っています。

近畿大学教育方針

【産業理工学部の教育研究の理念と目的、育成する人材像】

近畿大学学園の建学の精神に基づいた産業理工学部の教育研究の理念と目的は、従来の大学における文科と理科に区別された教育に対する反省から

人間主義の工学

“HOT (Humanity-Oriented Technology)” をキーワードに、理工系・芸術系・文系がクロスして創るテクノロジーとコミュニケーションに基づくHOTな教育と研究によって、21世紀が求める文理シナジー的発想を持った専門職業人を育成することを目的としています。産業理工学部では技術偏重でない21世紀社会で活躍できる自立した専門職業人を育てることを目指して、専門知識を教える充実したカリキュラムはもちろん、人間、社会、環境を重視した実学教育を進めています。

実社会で活躍できる人材となるためには、専門知識ばかりではなく、社会人としての基礎能力もしっかりと身につけておくことも大切です。そのために産業理工学部では教養・基礎教育を行うための教養教育科目

として人間性・社会性科目群、国際性・地域性科目群、課題設定・問題解決科目群、スポーツ・表現活動科目群という四つの科目群と外国語科目群を全ての学科で開講しています。四つの科目群では幅広い教養科目の他に社会奉仕実習やインターンシップといった体験型の授業があります。外国語科目群では英語、中国語、フランス語、スペイン語などのスキルアップのために習熟度別にクラス分けを行い、実践的な教育を行います。

産業理工学部は、21世紀にふさわしい新たな学びの場として人間力を高めるためのきめ細かな教育を提供し、本当に楽しく、充実した学生生活になるような体制を整えています。

生物環境化学科

【生物環境化学科の学修・教育目標】

人類と地球環境をより良い未来へ導いていくために、自然現象を分子レベルで理解し、問題解決していく能力が強く求められます。生物環境化学科では、社会の幅広い分野で活躍できるプロの技術者を育てるため、「生物」、「環境」、「化学」をバランスよく学べるカリキュラムを用意し、講義科目だけでなく実験科目と演習科目を充実させています。生物環境化学科には次の3コースがあります。

バイオサイエンスコース：バイオテクノロジーを専門に学びます。遺伝情報の流れや、それをもとにした遺伝子医薬などの応用まで幅広く学びます。微生物を用いた実験やタンパク質を用いたバイオセンサーの実験など、種々のバイオテクノロジー全般の技能を修得します。

食品生物資源コース：食の安全と品質を守り、食料その他生物資源の有効利用に携わるエキスパートを育てます。バイオテクノロジーを基盤に、新しい食品機能の発見と健康への利用、微生物の産業利用、食品と栄養の科学について学びます。また、排水浄化と有害物質の分解、バイオマスの資源化など生物を利用した自然環境の保全修復技術も身につけます。

エネルギー・環境コース：環境にやさしい化学の観点から、地球温暖化対策、新エネルギーの研究開発、人と環境に優しい材料の開発、リサイクル技術、環境計測、環境教育を身につけます。また、導電性や磁性

を持った先端材料の開発、選択的高性能化学センサーの開発、微量で特殊な化合物の検出ツールなど、21世紀を支える先端技術も身につけます。

【生物環境化学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 21世紀の最重要課題「バイオ」、「環境」、「材料」の分野で、実社会の問題を解決し新たな技術やアイデアを生み出すことのできる人材の育成を目指したバランスのとれたカリキュラムを用意しています。
- 2 1、2年次ではおもに生物学・有機化学・無機化学を中心とするコア科目を配し、3年次以降の展開科目で幅広い専門知識を学びます。4年次では卒業研究を中心とした本格的な研究者・技術者養成のための教育を行います。
- 3 1年次よりすべての学期で実験科目が開講され、充実した研究設備のもと実践的な教育を行います。

【その他の特色】

- 1 産学官連携による企業や公的機関との共同研究を積極的に推進しており、研究業務の実際や大学での勉強がどう生かされているのかを実感しながら勉強できます。
- 2 国家資格である「食品衛生管理者及び食品衛生監視員」の養成施設として当学科は認定されているほか、専門性を生かした公害防止管理者などの資格取得をサポートしています。
- 3 地域社会との交流による環境ボランティアや理科教育支援を積極的に行います。
- 4 近畿大学はもちろん、国公立大学の大学院への進学率も高く、そのためのきめ細かな指導も行います。

電気電子工学科

【電気電子工学科の学修・教育目標】

電気電子・情報通信技術は、身近な携帯電話からインターネット・自動車・航空機・ロボットなどありとあらゆるところで利用され、広く産業社会活動の基盤技術となっています。電気電子工学科では、いつまでも最前線で輝ける技術者として活躍できるよう、電気工学の基礎に始まり、応用エレクトロニクス、情報通信、クリーンエネルギーにまで広がる個別技術をハー

ドとソフトの両面から理解し、自然や地球環境と調和した基盤技術が開拓できる技術者を育てます。電気電子工学科には次の3コースがあります。

応用エレクトロニクスコース：専門基礎技術を理解し、独力で知識を吸収しながら時代をリードできる、より高いレベルの「自立した技術者」を目指して、アナログ技術とデジタル技術、ハードウェア技術とソフトウェア技術、さらにこれらの組み合わせ技術に精通し、とくにコンピュータによって制御されるエレクトロニクス機器を開発する技術を修得します。さらにコミュニケーション能力と多角的視野に基づいた教養も身につけ、世界に通用する技術者を育成します。

エネルギー・環境コース：環境保全に配慮した電気エネルギーの生成や安定供給、電気設備の設置や保全、電気電子デバイスの回路設計など、つねに社会で求めつけられる専門知識と実践力を身につけ、社会や環境を創る・支える・守ることができる技術者を育成します。

情報通信コース：携帯電話やリモコンに組み込まれたコンピュータのソフト・ハード技術、ロボット制御技術など、情報通信社会を支える多種多様な技術を学びます。おもにコンピュータを利用した装置と装置間の通信技術を中心に、情報通信に関する理論と技術を身につけたICT基盤を支える技術者を育成します。

【電気電子工学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 数学や物理の学修において高校からスムーズなつながりができるよう、補習的な講義などを通してたりメディア教育を行っています。また、専門分野へのつながりに配慮した専門基礎科目を設けています。
- 2 1、2年次では、電気電子分野の専門基礎科目を配置し、3年次以降に各コースに所属して、コースに応じた専門知識を教育します。
- 3 「電子情報設計プロジェクト」では、15週にわたり一つのテーマに関して、グループ討論による問題抽出、解決法の探索・実現を通してエンジニアリングデザイン能力を養います。
- 4 「電子情報工学セミナー」では、自己分析とグループディスカッションにより、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養います。

【その他の特色】

- 1 「知能ロボットプロジェクト」や「電気電子工学科ものづくり工房」により実践的なモノづくり教育を進めています。
- 2 各学年複数教員の担任制で、一人一人の顔が見える学生指導体制をとっています。
- 3 電気電子・情報通信分野からの多くの求人があり、毎年、一部上場企業をはじめとして就職率が高く、質の高さが社会や産業界から認められています。

建築・デザイン学科

【建築・デザイン学科の学修・教育目標】

建築の工学とデザインの感性を磨き、高い使命感と倫理観を身につけた建築技術者と美しい建築空間あるいはデザインコミュニケーション情報を創造するデザイナーの育成をめざします。建築や都市など規模の大きなものから、住宅や店舗の設計、ポスターデザインやウェブデザインなどの身近なものまで、幅広い「モノづくり」の技術・技能の習得を目標としてカリキュラムを編成しています。また、設計意図や完成作品の特徴を多くの人に伝え、深く印象付ける能力の習得も大切だと考えて開講科目を定めています。

建築・デザイン学科は次の2コースを設けています。

建築工学コース：国際的に通用する建築技術者に育つようより高いレベルの専門知識を授けます。建築に関する包括的な専門知識に加えて、さらに建築物や地域の安全性（建築構造）、快適性（建築環境・設備）、材料・構法（建築生産）に関する建築工学の高度な専門技術を習得するカリキュラムとしています。本コースを修了することで一級建築士受験資格と共に、二級施工管理技士受験資格を取得できます。

建築・デザインコース：自分の将来設計に合わせ、建築およびデザインの両方のプログラムを発展的に学修することができるコースです。幅広い素養と建築に関する包括的な専門知識・能力を身につけて、建設関連業界で活躍できる技術者や、企画から制作までの全過程を行える技能を持ち、デザイン関連業界で活躍できる人材の育成を目標としながら、その両方の資質を有したこれからの社会で必要とされる新たな建築士・デザイナーの育成を目指します。

建築設計・施工に欠かせない建築計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産の4分野にわたる内容と、ユニバーサルデザインを軸に情報・プロダクト・環境

デザインの3分野を総合的に学修できる多彩な科目が用意されています。そのため、各学生の将来目的に応じて履修科目を選定することができます。本コースを修了することで二級建築士の受験資格を取得できます。さらに修得科目によっては一級建築士の受験が可能となります。

【建築・デザイン学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 建築とデザインのいずれをも学ぶことができるように設定された多様な科目から、自分の将来設計にあった科目の選択が可能となっております。
- 2 幅広い視野を持ち人間力のある実践的な建築技術者と総合的なデザイン力のあるデザイナーを育成するため、建築教育とデザイン教育を高度に織り込んだ斬新なカリキュラムを編成しています。
- 3 一級建築士、二級建築士、技術士などの建築業務に関わる資格の取得をめざすカリキュラムとしています。また、インテリアコーディネーター、CG検定などのプロフェッショナル資格をめざした指導にも力を注いでいます。建築やデザイン分野で就職し活躍していくためには、専門資格の取得は必須です。

【その他の特色】

- 1 設計事務所やデザイン事務所等の会社組織や実務者と連携した実践的な教育を行います。
- 2 演習を中心とした専門教育の多くは、少人数クラスの授業で個別指導を徹底しています。
- 3 学生にとって魅力があり、なおかつ社会的にも話題となっている課題を取り上げ、作品などその成果は、学外発表・展示などにより外部の評価を受け、授業改善に結びつけています。

情報学科

【情報学科の学修・教育目標】

情報が社会のあらゆるレベルに浸透し、私たちの身近な生活と切っても切れない存在であることが認められる中、情報自身は、常にその可能性を広げ、存在様式を進化・発展させ続けています。巨大化し、多様化していく情報と与し、手なずけ、役立てて行くためには、情報を扱うためのソフトウェアやネットワークの技術と知識を学ぶとともに、日々進化・発展していく情報の様々な形式に触れ、そのサイエンスとしての扱

い方に慣れ親しみ、新たな情報メディアの可能性を常々考えるような習慣を身につけることが必要となります。このような技術と知識と体験を身につけた人を育成するため、情報学科では次の3つのコースを設けています。

情報エンジニアリングコース：情報システムの構築とその分析・設計・開発に関わる知識と技術を身につけ、インターネット社会の情報基盤を開発する最前線において活躍できる人材を育成します。このため、情報技術に関する基礎知識（ハードウェア、ネットワーク、データベース、アルゴリズム）、情報システムに関わる分析・設計・運用技術、プログラミング、セキュリティ、先端技術（クラウド、組み込みなど）の教育を提供します。

メディア情報コース：情報メディアに関する知識と、コンテンツを制作するための手続き的知識と技能を身につけ、創造産業を含む文化産業に従事できる人材を育成します。このため、社会生活における情報メディアの役割・知的財産権・インターネットサービスやビジネス等に関する基礎知識、コンピュータ音楽・コンピュータグラフィックス・デジタル映像といったコンテンツ制作技能、Webデザインの手法・Webプログラミング・Web解析技術といったWebサイトの企画・制作・運用に関する技能を修得するための教育を提供します。

データサイエンスコース：膨大なデータから有益な情報を抽出し、分析・予測に役立てるための手続き的知識と技能を身につけ、企業のマーケティングやデータ分析に携わる部門において活躍できる人材を育成します。このため、データ分析のための基礎知識（統計解析、データの可視化、データベース）、知識発見のための手法（データマイニング、機械学習、最適化）、そして、発展技術（シミュレーション、モデル同定）に関する教育を提供します。

【情報学科カリキュラム編成上の特色】

- 1 カリキュラムは、各コース共通の知識となる科目群と、それぞれのコース毎に特徴的な科目群から構成されています。
- 2 演習科目を多数用意して徹底した実践力の修得を行います。
- 3 「情報学プロジェクトⅠ・Ⅱ」として、実際に社会の中で役立つシステムを構築することを目的と

して、ゼミ単位少人数のチームで企画、計画から設計、コスト試算、構築、実証評価までを行い、その結果をプレゼンテーションとして発表するという講義を行います。座学や演習だけでは身につけることができない社会に役立つ実践力を育てます。

【その他の特色】

- 1 就職率が高いだけでなく、特に上場企業への就職者が多いのが特長です。
- 2 各コースの特性に沿った資格取得を積極的に指導します。男女の差なく、それぞれの分野のプロフェッショナルとして幅広く活躍できますので、女子学生のキャリアづくりにも最適です。

経営ビジネス学科

【経営ビジネス学科の学修・教育目標】

経営ビジネス学科では、実践的な経営センスを持ち、地域や社会に貢献する人材を育成します。知識中心の組織社会化がますます進行する中で、知的資源や人的資源をいかに活用していくかが重要となってきています。また近年、社会全体の価値観や利害の多様化が進み、複雑化し、それらの間の調和をいかに図っていくかが重要になってきています。このような変化のために、マネジメントに対するニーズと期待が高まっています。また、学生の関心と活躍の場のグローバル化も起こってきています。

マネジメントについて最も必要なことは、社会における組織の使命や役割を明らかにすることです。その使命を果たし、役割を遂行するためには、二つの条件が不可欠です。一つは、革新性・創造性をもつことであり、組織の置かれている現状をつねにチェックし、改善を加えていくことが必要です。もう一つは、社会性をもつことであり、組織に対する社会の期待がどこにあり、社会が必要とするものは何かを考えることが必要です。マネジメントのあり方は、この2つの条件、革新性・創造性と社会性によって左右されます。

このような基本的認識に立って、経営ビジネス学科では組織経営に関する理論的、実践的教育を進めています。なお、組織は、企業だけでなく、非営利組織・自治体・地域コミュニティも含まれます。これらの幅広い組織の経営（マネジメント）方法について、段階的に学んでいきます。

また、社会性を養うために、マネジメントの理論や技術だけでなく、そのよって立つ文化的背景をも学んでいきます。

学科では経営マネジメントとグローバル経営の2コースを設け、学生が興味や関心に応じて履修できるような編成としています。経営マネジメントコースでは、経営や会計について幅広く学び、経理面での理論と実践の融合を目指していきます。また企業・非営利組織・自治体などの組織に着目して、それらの運営に関する科目を幅広く学びます。グローバル経営コースでは、国際的な視野に立ち、グローバル社会における組織経営に関わる能力を養成します。国際化に対応するために、外国の文化の理解や語学の習得もめざします。

【経営ビジネス学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 専門基礎科目を重視し、主要分野に関する必修科目を配置しています。それをベースに、段階的、系統的履修を促します。
- 2 ゼミナールを中心にした少人数教育を徹底し、「全人教育」を目指し、各学年で少人数によるゼミナール教育を行います。
- 3 「会計処理演習」「フィールドワーク」「データ分析」を開講し、具体的事例や実践的テーマに対して、学生が直接参加する授業を行います。アクティブラーニングは各科目でも取り入れて、学修内容のより深い理解をめざします。

【その他の特色】

- 1 簿記関連、語学関連などの資格取得に関して、課外授業を行います。
- 2 アクティブラーニングを実践するために、グループワークや学外での活動を積極的に行います。

1. 履修規定

1.1 はじめに

大学は、それぞれの専門分野で定められた科目について所定の単位数を修得して“学士”（英語名：Bachelor）の学位を得る所です。近畿大学産業理工学部を卒業すると“学士（工学）”または“学士（経営ビジネス学）”の学位を得ることができますが、卒業するには所定の単位を修得しなければなりません。単位を順調に修得するための履修計画や履修のための諸手続き、修得単位数の確認などは、学生自身で行わなくてはなりません。実社会では書類提出や諸手続きがわずか1日、場合によってはたった1時間遅れただけで大きな損失を被ることもあります。それは全て“自己責任”として処理されます。大学でも同様であり、いい加減な履修計画を立てたり、必要な手続きを怠っていると、4年間で卒業できなかつたり、本来取得可能な資格を取り損ねたりすることがあります。

したがって、新入生の皆さんは、当学部の“履修規定”をよく理解し、順調に卒業できるよう努めてください。

また、種々の事務手続きや休講・補講の通知、試験時間割など重要な連絡事項は、産業理工学部内専用サイト UNIVERSAL PASSPORT（以後「ユニパ」）の電子掲示または紙の掲示によって学生の皆さんに伝えられます。ユニパの電子掲示はインターネットでアクセスすることでいつでも確認することができ、紙の掲示については1号館1階の掲示板もしくは各学科の掲示板に貼り出されます。したがって、毎日1回は必ずユニパと両掲示板の連絡事項を確認するよう心掛けて下さい。「掲示を見ていなかったのだから知らなかった」という言い訳は、当学部に限らずいかなる大学でも通用しません。

1.2 学年次

入学後1年間は1年次、在学期間が1年増すごとに2年次、3年次となります。しかしながら、3年次、4年次に進級するためには、「1.4 進級の条件」を満たしていることが必要です。そうでない場合は留年ということになります。4年次に進級していない（卒業研究に着手できない）学生に対しては当然、卒業見込証明書が発行されませんので就職活動もできませんし、在学期間を問わず進級条件を満たさない限り、卒

業できません。そのようなことがないように、各学科では単位の修得状況が心配な学生の成績通知書に警告を記載しています。単位の修得状況には日頃から十分注意してください。

また、編入学、転学部、転学科あるいは再入学して本学部の学生となった場合には、修得済みの科目や単位数に応じて移動先の学科が指定した学年次に籍をおくことになります。

1.3 卒業要件

当学部で卒業資格を得るための要件は4年間以上在学し、教養教育科目、専門科目のなかから学科・コースで指定された必修科目、定められた単位数以上の選択必修科目をすべて修得したうえで、卒業所要単位数124単位以上を修得しなければなりません。また、“教職課程科目のうち教職に関する科目”単位は卒業所要単位に含まれませんので注意してください。

表1 卒業要件

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	学科・コースで指定された全単位数	学科・コースで指定された単位数以上	
	選択必修科目	学科・コースで指定された単位数以上		

なお、修得しなければならない科目などは学科・コースにより大きく異なります。詳細は表2および各学科の「学修の手引」を参照してください。

表2 各学科の卒業要件

◎生物環境化学科 卒業所要単位数表

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	38単位	70単位以上	
	選択必修科目	14単位以上		

◎電気電子工学科 卒業所要単位数表

応用エレクトロニクスコース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	84単位	94単位以上	
	選択必修科目	10単位以上		

エネルギー・環境コース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	76単位	88単位以上	
	選択必修科目	12単位以上		

情報通信コース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	70単位	86単位以上	
	選択必修科目	16単位以上		

◎建築・デザイン学科 卒業所要単位数表

建築工学コース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	53単位	80単位以上	
	選択必修科目	17単位以上		

建築・デザインコース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	33単位	70単位以上	
	選択必修科目	4単位以上		

◎情報学科 卒業所要単位数表

情報エンジニアリングコース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	56単位	70単位以上	

メディア情報コース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	28単位	70単位以上	
	選択必修科目	8単位以上		

データサイエンスコース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	34単位	70単位以上	

◎経営ビジネス学科 卒業所要単位数表

経営マネジメントコース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	28単位	70単位以上	
	選択必修科目	6単位以上		

グローバル経営コース

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	28単位	70単位以上	
	選択必修科目	6単位以上		

1.4 進級の条件

1.4.1 3年次進級の条件

3年次に進級するためには2年次終了時に教養教育科目、専門科目のなかから学科・コースで指定された科目をすべて修得したうえで、卒業所要単位のうち61単位以上修得しなければなりません。そうでない場合は留年し、卒業が延期となります。詳細は表3および各学科の「学修の手引」に書いてありますので、十分に理解して下さい。

表3 各学科の進級条件

◎生物環境化学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件			61単位以上
4年次進級条件	3年次までに開講される必修科目の全単位	3年次までに開講される必修科目の全単位	110単位以上

◎ 電気電子工学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件		1年次に開講される必修科目の全単位	61単位以上
4年次進級条件	1年次に開講される必修科目の全単位	2年次までに開講される必修科目の全単位および「電気電子情報工学実験Ⅰ」「電気電子情報工学実験Ⅱ」「電子情報設計プロジェクト」「電子情報工学セミナー」の4科目の単位	110単位以上

◎ 建築・デザイン学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件		「建築・デザイン演習Ⅰ」「建築・デザイン演習Ⅱ」「静定構造力学Ⅰ及び演習」「建築と構造」の4科目の単位	61単位以上
4年次進級条件	英語科目における必修/選択必修科目の中から4単位以上	2年次までに開講される必修科目の全単位	110単位以上

◎ 情報学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件	「基礎ゼミ」「科学的問題解決法」の2科目の単位	1年次に開講される必修科目の全単位	61単位以上
4年次進級条件	2年次までに開講される必修科目の全単位	2年次までに開講される必修科目の全単位および「情報学プロジェクトⅠ」「情報学プロジェクトⅡ」の2科目の単位	110単位以上

◎ 経営ビジネス学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件	「基礎ゼミ」「科学的問題解決法」「ライフデザイン」「日本語の技法」「情報処理Ⅰ」5科目の単位	1年次に開講される必修科目の全単位	61単位以上
4年次進級条件	3年次までに開講される必修科目の全単位	3年次までに開講される必修科目の全単位および3年次までに開講される選択必修科目から6単位以上	110単位以上

1.4.2 4年次進級の条件

4年次で取り組む卒業研究は特に重要な必修科目です。4年次に進級して卒業研究に着手するためには3年次終了時に教養教育科目、専門科目のなかから学科・コースで指定された科目をすべて修得したうえで、卒業所要単位のうち110単位以上修得しなければなりません。詳細は表3および各学科の「学修の手引」に書いてありますので、十分に理解してください。

1.5 授業について

1.5.1 授業科目の構成

当学部で開講される授業科目は、その目的や内容から表1.1のように分類されます（各科目の構成については、各学科の科目一覧表を参照のこと）。教養教育科目、専門科目には、それぞれ必修科目、選択必修科目および選択科目があります。

表1.1 授業科目の構成

授業科目	授業内容
教養教育科目	各学科で学ぶ専門的な知識と両輪をなす基礎的な知識と社会生活における幅広い教養を修得することを目的として、人間性・社会性科目群、国際性・地域性科目群、課題設定・問題解決科目群、スポーツ・表現活動科目群、外国語科目群、という五つの科目群で構成されます。これらは主として1、2年次に学修するように開講されています。また、各科目群をバランスよく学修することが求められます。
専門科目	専門分野に必要な知識と技術の習得を目的としており、講義、実験、実習、演習などの科目で構成されます。1年次から開講されますが、高年次になるにつれてそのウエイトは大きくなります。
教職課程科目	高等学校の教員免許状の取得を希望する学生に対して開講される科目です（詳細は「3.教職課程」を参照のこと）。 ※卒業の所要単位にはなりません

1.5.2 授業形態

ほとんどの科目は毎週同一の曜日・時間帯に授業が実施されますが、一部の科目はある数日間にわたって集中的に講義が実施されることがあります。これを“集中講義”といいます。

1.5.3 受講制限

適正な授業運営および教育効果の向上のために受講制限を実施する場合があります。Web履修登録(1.6.2を参照)において、適正な受講者数を超過した科目には、当該の授業担当教員の判断または選考および抽選により受講制限を実施し、受講する学生の人数を調整します。

なお、受講制限により受講が認められなかった場合は、並行開講されている授業科目への振替受講となることがあります。

1.5.4 クラス編成

教育効果の向上のため受講制限とあわせてクラス編成を実施する場合があります。習熟度別クラスや再履修生専用クラスなど、あらかじめクラスが指定されている場合がありますので注意してください。

1.5.5 授業時間と単位数

当学部での授業時間は1コマ(1時限)当たり90分間で表1.2の時間割に従って授業が開講されます。ただし、同じ授業時間でも科目によって単位数が異なります。履修手続き(「1.6.2 履修手続き」を参照のこと)をする際に各学科の「学修の手引」に記載されている単位数をよく確認してください。

所定の単位数は、15回の授業と定期試験(定期試験を実施しない科目もあります)により構成されています。その単位数を修得するには、まず、授業に全て出席して、真剣に授業内容に取り組むことが必要です。

表1.2 授業時間

(授業時間については変更となる場合があります。)

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時 間	9:20～ 10:50	11:00～ 12:30	13:20～ 14:50	15:00～ 16:30	16:40～ 18:10

1.5.6 休講と補講

やむを得ない事情で授業が行われなことを休講といい、休講された授業を、日時を改めて行うことを補講と言います。休講と補講は掲示ならびにユニパにより通知されます。

1.5.7 出席の重要性について

授業はすべて出席することが前提であり、何回まで休めるというものではありません。したがって、各科目で設定されている成績評価方法および基準によっては、毎回出席しなければ早い段階で単位の修得が不可能になり、試験を受けることができなくなる場合があります。(課題提出や小テストなどが実施されるため欠席が多いと授業についていけなくなります)科目によっては受講者を決定するための選考で出席状況(出席・遅刻・早退)は重要な要素にもなりますので必ず全回出席するようにして下さい。

1.5.8 欠席について

産業理工学部においては公欠というものは存在せず、原則いかなる欠席も通常の欠席として取り扱います。しかしながら、忌引きの場合のほかいわゆる“学校感染症”に感染し学校保健安全法に基づき出席停止となる場合など表1.6に記載されるようなやむを得ない事情がある場合は、学生支援課へ相談してください。

1.6 履修から単位修得までの手順

1.6.1 履修の種類

表1.3「履修の種類と履修方法」を確認のうえ、手続きを行なってください。授業担当教員が一度許可をしても状況によっては履修を取り消す場合があります。また、他学科での履修は別途手続きが必要です。(1.6.3「履修に関する注意事項」を参照のこと)。

表1.3 履修の種類と履修方法

履修の種類	履修の内容	授業担当 教員許可
上級履修	時間割において、自分の在籍している学科を問わず、在籍年次より上の年次を対象に開講されている授業科目を履修すること。	在籍学科を問わず必要
下級履修	時間割において、自分の在籍している学科を問わず、在籍年次より下の年次を対象に開講されている授業科目を履修すること。	他学科履修であれば必要 在籍学科であれば不要 ※ただし、クラス設定、受講制限、受講条件がある場合は必要
再履修	一度履修して不合格となった授業科目を自分の在籍している学科を問わず、在籍年次または下の年次を対象に開講されている授業科目を履修すること。	

※産業理工学部では原則として上級履修は認めていません。

1.6.2 履修手続き (Web履修登録)

表1.4は、授業科目の履修登録と単位修得のための一連の手続きを示しています。

すべての学生は、ユニパにてその年度に履修する授業科目（前・後期分）をWeb入力して所定の期間内にWeb申請しなければなりません。なお履修手続きに際しては、予習・復習・レポート作成といったことに十分な学修時間が確保できるよう、原則として前期・後期を合わせた年間の履修科目の合計が49単位を超えて履修することはできません。このことを「キャップ (CAP) 制」と言います。

ただしキャップ (CAP) 制に含まれない科目もありますので、以下の除外科目一覧を確認してください。

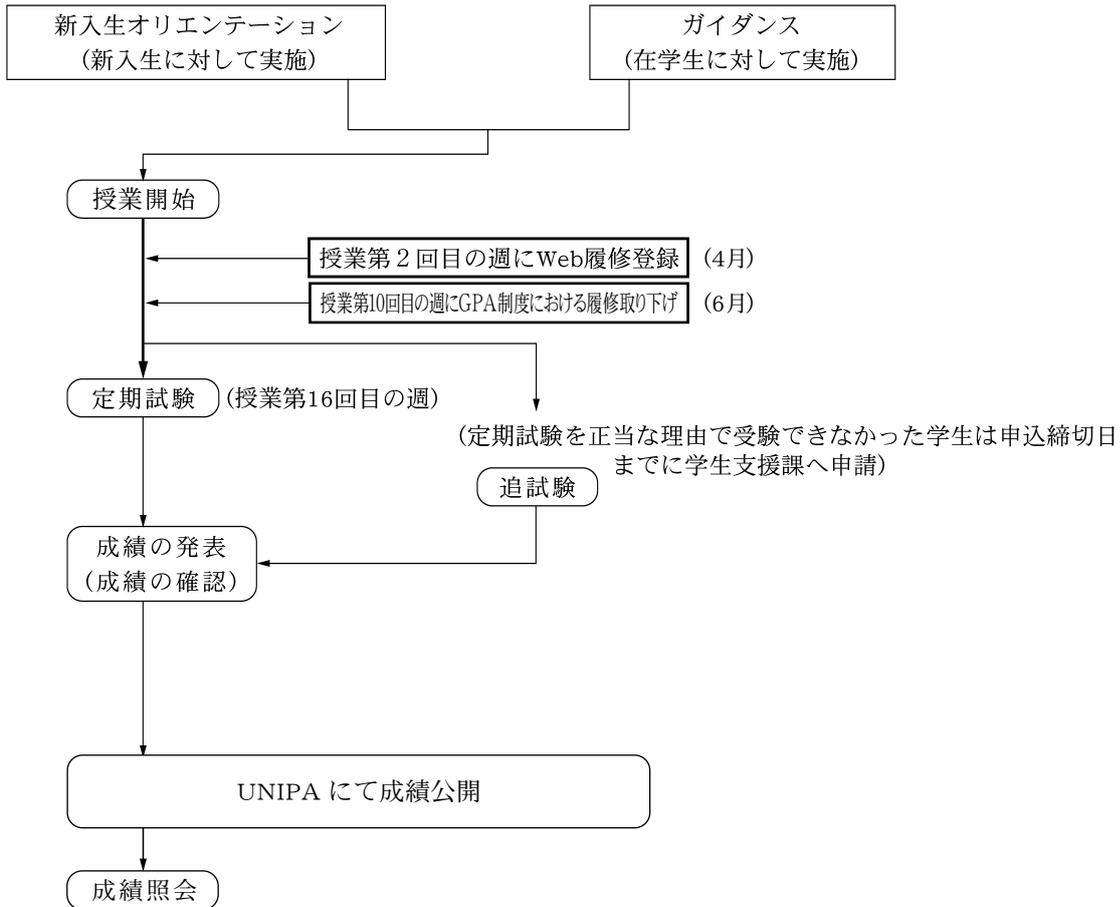
※キャップ (CAP) 制除外科目一覧

	科目名		科目名
1	職業指導	12	情報科教育法 I
2	職業指導 (商業)	13	情報科教育法 II
3	教職論	14	商業科教育法 I
4	教育学概論	15	商業科教育法 II
5	教育心理学	16	特別支援教育論
6	特別活動及び総合的学習の時間の理論と方法	17	教育方法論
7	教育行政学	18	生徒・進路指導論
8	工業科教育法 I	19	教育相談
9	工業科教育法 II	20	教育実習指導
10	理科教育法 I	21	教育実習
11	理科教育法 II	22	教職実践演習 (高等学校)

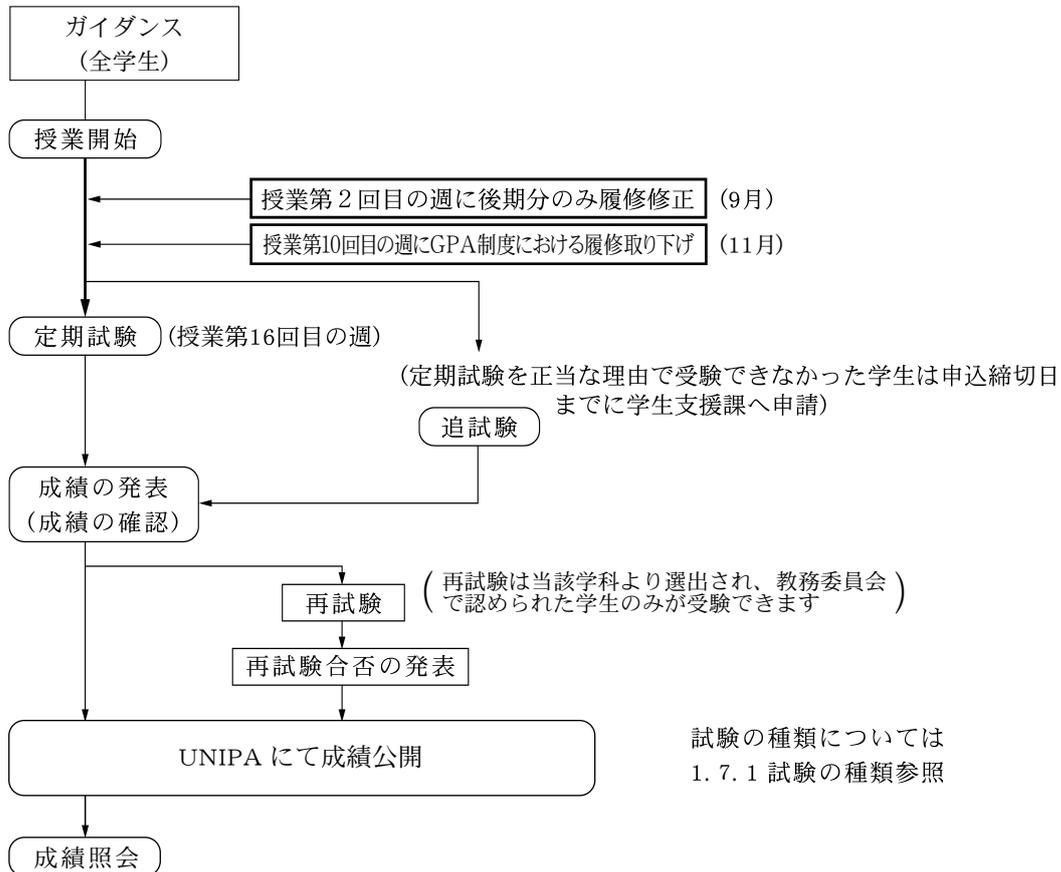
なお、“履修できる”単位の上限が年間49単位であり、“修得できる”単位の上限が年間49単位ではありません。したがって、前期に不合格となった科目やGPA制度における履修取り下げ科目が多いからといって、後期になって科目を追加して履修することはできませんので注意してください。

表1.4 単位を修得するための手続きの流れ

[前期]



[後期]



試験の種類については
1.7.1 試験の種類参照

1.6.3 履修に関する注意事項

- ①授業の第2回目の週が履修登録期間となります。
- ②履修登録期間終了後のWeb履修登録は一切できません。
- ③英語など一部の科目においては、入学時のテストなどにより受講できる科目や科目名が同じでも受講するクラス(1.5.4 クラス編成)が指定されます。
- ④同一時間帯に二つ以上の授業科目(集中講義を含む)を履修することはできません。同一科目名の授業を同じ学期内に二つ以上履修することもできません。
- ⑤一度単位を修得した科目を再度履修し、その科目の成績を変更することはできません。
- ⑥GPA等による選考または抽選により受講者を決定する授業科目がありますので、Web履修登録をしたにもかかわらず授業を受講できない場合があります。
- ⑦休学や留年により卒業が遅れて他学年の科目を履修する場合、授業科目が変更となり、読替対応となる場合があります。
- ⑧入学年度によっては読替対応していない科目がありますので、「読替対応表」を確認して履修登録を行なって下さい。
- ⑨受講者心得を守れない学生は履修を取り消すことがあります。

1.6.4 履修届の変更・修正

履修登録期間内であれば、履修科目の変更・修正はユニバ上で何度でも行なえます。その際は、再度Webにて履修登録をしてください。このとき、必ずチェックボタンを押し、エラーがないことを確認後、確定ボタンを押してください。

履修登録が終わると個人別時間割を印刷することができますので、一度出力して授業科目や担当教員が正しく登録されているかを確認し、保管しておいてください。

1.6.5 履修相談

単位修得や履修計画、あるいは履修登録の手順などに関する相談には、各学科の学生支援委員や担任、学生支援課が対応します。その際、「時間割表」や「成績通知書」、「学修の手引」、「履修の手引」を持参してください。

1.6.6 受講者心得

- ①授業を欠席・遅刻・早退しない。
- ②授業中に無断で教室の出入りをしない。
- ③授業中に飲食をしない。
- ④授業中に私語をしない。
- ⑤授業中に携帯電話や携帯ゲーム機を使用したり、漫画や雑誌などを読んだりしない。
- ⑥教室内で帽子やサングラスなどを着用しない。(必要な場合は事前に申し出てください。)

※上記の内容をはじめ授業中のマナーとして問題があると思われる行為や授業を放棄していると思われる行為があった場合は履修登録を取り消すことがあります。

1.6.7 留学生の教養教育科目(外国語科目群)の履修に関する注意事項

外国人留学生は「近畿大学外国人留学生規程」の第9条と「外国人留学生の共通教養科目・外国語科目の履修に関する特例について」により、留学生の外国語科目の履修において、公用語、母国語及びそれに準ずる日常語として使用している言語の履修が認められていません。そのため、必修・選択必修として卒業・進級に必要な外国語科目の単位は日本語科目の修得単位で代えます。詳細については、学生支援課で確認をしてください。

1.6.8 レポートにおける^{ひょうせつ}剽窃(盗用)行為(plagiarism)について

“剽窃”とは他人の著作から全部または部分的に文章、図表、語句、話の筋、思想などを盗み、自作の中に自分のものとして用いることです。友人が書いたレポート等を写す行為は剽窃ですし、ネット上の情報を自分のレポートに貼り付けてしまう行為、いわゆる「コピペ」も剽窃です。他人のテキストを自分で入力しても剽窃になります。剽窃は倫理に反することであり、著作権を侵害するなど法に触れる場合もあります。剽窃は学生として絶対に行ってはいけない不正行為なのです。

近畿大学では、剽窃に対してカンニングと同様に厳正に対処します。米国の大学等ではcheating(カンニング)と同じ扱いになり、剽窃を行ったレポートが判明すると、即座に退学させられる場合もあります。ただ、処罰対象になるからやってはいけない、というこ

とではありません。あくまで、剽窃は倫理に反する行為、不正行為だということです。

一方で、レポートを作成するときには、様々な文献を引用することがあります。様々な文献を引用することは、レポートを作成する上で重要なことです。「引用」と「剽窃・盗用」は全く異なります。文献等を引用する際に大事なことは、「自分の文章と他人の文章をレポートの中で明確に区別する」ということです。なお、引用は明確に示すこと（明瞭区別性）はもちろん、引用が従であること（主従関係）、出典を明示することなど厳格なルールが存在します。引用ルールの詳細については、近畿大学中央図書館学修サポート（https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study_support.html）の「レポートの書き方」や「ダメなコピー・パクリ≡「剽窃（ひょうせつ）」について」などを参照してください。

レポートに書いた文章は、それを書いた人の大事な自己表現です。レポートや試験でも自分の文章に誇りを持ち、剽窃などせず、自分自身の個性を存分に発揮してください。

1.7 試験

1.7.1 試験の種類

表1.5 試験の種類と内容

試験の名称	内 容	実施時期
定期試験	学生全員を対象として各学期末に行う試験（注1）	16回目 授業
臨時試験	各担当教員が必要に応じて行う試験（小テストを含む）	随 時
追試験 (1.7.5参照のこと)	定期試験を正当な理由（注2）で受験できなかったと認められた場合に行う試験	定期試験 終了後
再試験 (1.7.7参照のこと)	定期試験・追試験を受験した結果、不合格となった科目について、その履修年度内で実施する試験をいいます。「不受」の場合は受験できません。※ただし最終学年であるなど再試験を受験するには所定の要件を満たしておかなければなりません。 また、再試験受験科目の評価は60点を最高限度とします。	各学期末

（注1）：出席や課題の提出状況、試験の受験状況等により“授業放棄”とみなされる場合があります。この場合、定期試験の受験を認めず、成績はつかず追再試験対象科目からはずされるなどの厳しい対応が行なわれる場合があるので注意してください。

（注2）：忌引、不慮の交通事故、公共交通機関の事故・故障、突発的な病気など（ただし、この場合は交通機関や病院が発行した証明書が必要です）に起因する場合（表1.6参照のこと）。

1.7.2 定期試験

各学期末（16回目）に実施される試験であり、定期試験を実施する科目については受験しなければ成績評価が行われません。また、定期試験に替えてレポートや課題を求められる科目も同様にすべて提出しなければ成績評価が行われませんので注意してください。

1.7.3 試験期間

試験は授業の16回目に実施し、教室等の変更がある場合はユニパまたは掲示板にて発表します。

1.7.4 受験者心得

- ①授業の出席日数（回）が不足する学生は受験できません。
- ②試験を受験しなかった場合は成績の評価が付きません。
- ③受験者は学生証を携帯し、試験中は学生証を試験監督者の見やすいところに置いて下さい。
- ④不正行為は一切許されません。不正行為とみなされた場合には学則等により処分されます。
- ⑤20分以上遅刻すると受験できません。また、試験開始後30分間は退室できません。
- ⑥試験中は、物品（筆記具、消しゴム、計算器等）の貸借は認められません。スマートフォン・タブレット・携帯電話なども使用できません。これらを机の上に出している場合には、電源のON、OFFに関わらず不正行為とみなされます。
- ⑦学費その他の納付金の未納者は受験しても無効となる場合があります。
- ⑧その他、受験態度不良もしくは試験監督者の指示に従わない学生は、受験の停止を命じられることがあります。

1.7.5 追試験制度について

定期試験を病気その他正当な理由により受験できなかった学生に対して行う試験であり、理由等を考慮したうえで認められた場合のみ受験資格が与えられます。定められた期間内に申し出て手続きを行わなければなりません。その際、科目数に応じて追試験料が必要となります。

1.7.6 追試験の申請

表1.6にあげられるやむをえない事由により定期試験を受験できなかったときは、試験実施日後すぐに学生支援課に連絡し、申請期間内に手続きを行なってください。その際、所定の用紙ならびに下記に掲げる提出書類を添付して届け出てください。追試験当日に追試験科目数に応じて追試験料を納めなければいけません。

表1.6 事由および提出書類

要件	提出書類	備考
本人の病気または怪我	診断書	
二親等以内の危篤または死亡	診断書または会葬状	※死亡の場合は最大7日間
交通機関の遅延	交通機関が発行する遅延証明書	
就職活動の面接、試験	受験した企業が発行する証明書(日時・場所等の記載されたもの)	就職活動の3・4年次のみ
勤務都合	在職証明書および勤務理由	社会人学生のみ
交通事故(2輪・4輪)	事故証明書および本学部駐車許可書	通学途中に限る
その他大学が認めるもの	追試験理由書	

※父母・養父母・配偶者・子・・・7日

祖父母・兄弟姉妹・・・3日

その他・・・1日

1.7.7 再試験制度について

最終学年の者が履修登録をし、最終試験(定期試験・追試験)を受験した結吉、不合格(成績評価「不可」となった場合、再試験を実施することがあります。

1.7.8に再試験の受験資格と受験上の注意事項を記していますが、受験資格は学科によって異なり、教務委員会により受験資格の有無を厳密に審査します。誰もが再試験制度を利用できるわけではなく、受験したら必ず合格する制度ではありません。

受験資格を確認できた学生は、決められた日時までに手続きを行わなければなりません。その際、科目数に応じて再試験料が必要となります。また、再試験受験科目の評価は60点を最高限度とします。

再試験受験有資格者は、所属学科の教員会議および教務委員会で確認し、教授会が承認する決まりとなっています。学生諸君から、科目担当教員へ直接再試験の実施を要求することはできません。

1.7.8 再試験の受験資格と受験上の注意

再試験の受験資格は次のとおりです。

- ①学部・学科が定める受験資格を満たしていること。
 受験資格の詳細については、所属学科の在学生ガイダンス等で確認してください。また、分からないことがあったら、学科の教務委員の先生に尋ねてください。
- ②日頃、授業に取り組む努力が顕著であること。
- ③ほかにも、再試験受験には以下の制約があります。
 - ・当該年度に履修登録し不合格となった授業科目だけが対象となる。(前年度以前に履修したことがあっても、当該年度に履修し直さないと対象になりません)
 - ・非常勤講師が担当する科目は、原則再試験の対象外となる。
 - ・定期試験を受験しなかった科目は、再試験を受験できない。(追試験受験を認められた科目はその限りでない)。

受験資格を認められた学生の氏名、試験科目、試験日程、受験料納付期限などは学生支援課より連絡します。

令和2年度 近畿大学 産業理工学部 履修の手引
の判定結果は3月上旬に1号館1階の掲示板に「卒業有資格者一覧表」として掲示されます。

また、ユニパ上に、判定結果が表示されます。

1.8 成績の評価と通知

1.8.1 成績の評価

成績の評価及び判定基準を表1.7に示します。

表1.7 成績の評価

実点評価	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59点以下	不受験	放棄
評価	秀	優	良	可	不可	不受	放棄
合否	合格				不合格		

不受：試験を受験しなかった者の評価であり追試験の対象となる。(理由が表1.6に該当する場合)。

放棄：授業を放棄したとみなされた者の評価であり追試や再試等の受験資格がなくなる。

1.8.2 成績通知の手順

- ◆各学期終了時に、ユニパで成績を発表します。
- ◆年度の初めに在学生ガイダンスなどを通じて、学生自身にも「成績一覧表」を渡します。

1.8.3 成績照会

試験を受験したにもかかわらず不受験扱いになっている等、成績評価について疑問がある場合、学生支援課を通じて、担当教員に成績の確認を求める事ができます。手続きの詳細については、ユニパにより通知します。

1.8.4 進級判定

2年次生は年度末に、在学期間（“在学”期間は“在籍”期間とは異なります。休学期間や停学期間は在籍期間には含まれますが、在学期間には含まれません。）と成績が3年次進級の条件を満たしているかどうか判定されます。

3年次進級の条件を満たさず留年した学生は、所定の期日（通常年度始め）までに「留年届」を学生支援課に提出しなければなりません。

3年次生は年度末に、在学期間と成績が4年次進級の条件を満たしているかどうか判定されます。

4年次進級の条件を満たさず留年した学生は、所定の期日（通常年度始め）までに「卒業延期届」を学生支援課に提出しなければなりません。

1.8.5 卒業判定

4年次生は後期定期試験の後、その在学期間と成績が卒業要件を満たしているかどうか判定され、そ

1.9 表彰および懲罰

1.9.1 表彰

在学中の学業成績、人格ともに優秀であり、他の学生の模範となった学生に対しては、学則の定めるところにより、卒業式において学長賞や学部長賞などが授与されます。また、学友会活動などで功労のあった学生に対しては、学友会活動功労賞が授与されます。

成績優秀な学生を対象とした、当学部独自の奨学金制度もあります。（『学生生活の手引』を参照）

1.9.2 懲罰

学則、学生規定その他の諸規則に違反し、本学の秩序を乱した者、または素行不良その他学生としてふさわしくない行為のあった者に対しては、学則等の手続きに従って譴責、謹慎、停学または退学の処分を行います。

1.10 連絡窓口

1.10.1 休学など

病気その他やむを得ない理由で3ヶ月以上授業に出席できないときは、願い出て、その許可を得て休学することができます。休学期間は、休学を許可された日から当該学期末または当該年度末までとなります。また、**休学期間は、在学期間に算入されません。**

その他、復学、退学、再入学、除籍、復籍といった取り扱いがあります。詳しくは教員または事務窓口にご相談してください。

1.10.2 学生への連絡

学生に対する公示、告示およびその他の学修上周知を要する事項は、全て「掲示」およびユニパにより通知します。常にそれらを見るように心掛けてください。

1.10.3 大学への連絡

行事予定、休講、その他授業および試験などに関する電話による問い合わせは、間違いを生じ易く、業務上も支障がありますので一切応じていません。必要のあるときは、掲示板を見るか、学生支援課の窓口で相談してください。なお、事故などの緊急時に限り、下記の連絡先を使用できます。

連絡先：産業理工学部（電話）0948-22-5655（代表）

1.10.4 事務窓口・取扱時間

事務室窓口の取扱時間帯は通常以下のようになっています。ただし、緊急の場合はこの限りではありません。

平日 9:00~18:00

1.11 GPA (Grade Point Average) 制度について

近畿大学では、100点満点の成績評価に対応させて、成績評価の指標としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度を施行しています。GPAとは、100点満点の実点を5段階のGPに置き換え、その科目の単位数と関連させてGPの平均値を算出したもので、最高点4点から最低点0点までの数値です。

GPA制度の意義は、GPAやGPによって自分の学修の全体的な達成度合いを簡便に測ることができる点にあります。GPAあるいはGPに基づいて、自分の弱点を把握し、履修計画や学修状況を反省し、より実効性のある勉学に取り組むことができるのです。

GPAは欧米の大学で広く採用されている評価方法であり、日本の大学のグローバル化に対応する制度です。すなわち、海外留学、海外の大学院進学、外資系企業への就職などの際に幅広く通用する国際標準の成績評価制度であり、グローバル社会において必要かつ有効な制度です。

(1) GPA値の計算方法

GPAは以下の数値と計算式で算出されます。

実点評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	不受験
5段階評価	秀	優	良	可	不可	不受
GP グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0

$$\text{GPA} = \frac{\{(履修登録科目の単位数) \times (履修登録科目のGP)\}の総和}{総履修登録単位数}$$

※GPA算出の具体例

科目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
単位数	1	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2
実点	83	65	82	58	92	74	80	68	90	不受	85
GP	3	1	3	0	4	2	3	1	4	0	3

$$\begin{aligned} \text{GPA} &= \frac{1 \times 3 + 2 \times 1 + 1 \times 3 + 2 \times 0 + 2 \times 4 + 2 \times 2 + 2 \times 3 + 1 \times 1 + 2 \times 4 + 2 \times 0 + 2 \times 3}{1 + 2 + 1 + 2 + 2 + 2 + 2 + 1 + 2 + 2 + 2} \\ &= \frac{41}{19} = 2.2 \text{ (小数第2位を四捨五入)} \end{aligned}$$

☞ 実点は当該科目の点数を表します。

- ☞ GPA は小数第2位を四捨五入して、表記は小数第1位までとします。
- ☞ GPA の最高点は4点、最低点は0点になります。
- ☞ GPA の計算式には、GP 対象外科目（下記一覧参照）および認定科目（実点で成績を出さない科目*）は含まれません。 ※おもに編入学生が対象となります。
- ☞ 不可になった科目または不受験および履修放棄の科目を再履修して単位を取得した場合でも、通算のGPAには過去の各履修のGPの点（0点）が算入されます。
- ☞ 進級要件、卒業要件にはGPAを適用しません。

(2) 履修取り下げについて

履修登録後、学部が定めた期間に、学生本人から申し出があった科目に関してのみ履修の取り下げを認めます。ただし、取り下げ期間中の履修科目の変更や追加は認められません。詳しい手続き方法は、別途通知します。

(3) GPA制度の活用

GPAの意義は、その値を自分の履修計画と学修状況を測る指標として活用する点にあります。以下の点に留意して、GPA値を高めることに努めてください。

1. 履修登録科目について熟慮し、登録科目についてはしっかりと勉強をして試験において不可をとらないこと。
2. 不受験科目をなくすこと。そのために、履修放棄をする科目については「履修取り下げ期間」中に必ず「履修取り下げ」を行うこと。
3. 成績通知書のGPA値あるいは各科目のGP値を確認して自分の履修計画、学修状況を反省し、克服すべき課題を自覚すること。

【GP対象外科目一覧】

学科	GP対象外科目
全学科	建学のこころ、インターンシップ、基礎ゼミ、科学的問題解決法、卒業研究、留学英語、海外語学研修
電気電子工学科	初等理工学実験、初等電気工学実験、電気工学基礎実験Ⅰ、電気工学基礎実験Ⅱ、電気電子情報工学実験Ⅰ、電気電子情報工学実験Ⅱ、電子情報設計プロジェクト、電子情報工学セミナー
建築・デザイン学科	プロジェクト研究
経営ビジネス学科	プレゼミナールⅠ、プレゼミナールⅡ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、グローバル・スタディ、フィールドワーク、会計処理演習、特別講義Ⅰ、特別講義Ⅱ、特別講義Ⅲ、特別講義Ⅳ、経営分析
教職科目	職業指導、職業指導（商業）、教職論、教育学概論、教育心理学、特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法、教育行政学、工業科教育法Ⅰ、工業科教育法Ⅱ、理科教育法Ⅰ、理科教育法Ⅱ、情報科教育法Ⅰ、情報科教育法Ⅱ、商業科教育法Ⅰ、商業科教育法Ⅱ、特別支援教育論、教育方法論、生徒・進路指導論、教育相談、教育実習指導、教育実習、教職実践演習（高等学校）

2. 授業科目一覧

2.1 教養・基礎教育部門総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

生物環境化学科、電気電子工学科、
建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択	備考
教養教育科目	第1群 人間性・ 社会性 科目群	現代社会と法	2	1・2	後	□	第1群の□から2単位以上修得すること
		暮らしの中の憲法	2	2・3	前	□	
		現代社会と倫理	2	1～3	前,後	□	
		哲学と人間・社会	2	2・3	前	□	
		心理と行動	2	1・2	後	□	
		環境と社会	2	2・3	前	□	
		環境と科学	2	1・2	後	□	
		企業倫理と知的財産	2	1	前,後	□	
		建学のこころ	1	1	後	△	
		インターンシップ	2	2・3	後	△	
	教養特殊講義A	2	2	集中	△		
	第2群 国際性・ 地域性 科目群	国際経済入門	2	2・3	前	□	第2群の□から2単位以上修得すること
		国際社会と日本	2	1・2	後	□	
		国際化と異文化理解	2	1・2	後	□	
		日本史概論	2	2・3	前	□	
		日本文学論	2	2・3	前	□	
		地域社会と情報	2	1・2	後	□	
		地域社会と電気技術	2	1・2	後	□	
		教養特殊講義B	2	2	集中	△	
	第3群 課題設定・ 問題解決 科目群	基礎ゼミ	2	1	前	○	
		科学的問題解決法	2	1	後	○	
		ライフデザイン	2	1	前	○	
		日本語の技法	1	1	後	○	
		論理的表現法Ⅰ	1	2	前	○	
		論理的表現法Ⅱ	2	2	後	△	
		キャリアデザイン	2	2	前	△	
		就職計画	2	3	後	△	
		情報処理Ⅰ	2	1	前	○	
		情報処理Ⅱ	2	1	後	△	
	情報処理Ⅲ	2	2	前	△		
	教養特殊講義C	2	2	後	△		
	第4群 スポー ツ・表 現活動 科目群	生涯スポーツⅠ	1	2	前	□	第4群の□から1単位以上修得すること
生涯スポーツⅡ		1	2	後	□		
健康とスポーツの科学		2	1・2	集中	□		
食生活と健康		2	1・2	後	□		
視覚表現の科学		2	2・3	前	□		
空間とデザイン		2	1～3	前,後	□		

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択	備考
教養教育科目	第5群 外国語科目群	英語Ⅰ	1	1	前	○	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
		英語Ⅱ	1	1	前	○	
		英語Ⅲ	1	1	後	○	
		英語Ⅳ	1	1	後	○	
		実用英語Ⅰ	1	2	前	□1	
		実用英語Ⅱ	1	2	後	□1	
		アドヴァンスト英語Ⅰ	1	3	前	□1	
		アドヴァンスト英語Ⅱ	1	3	後	□1	
		インタラクティブ英語Ⅰ	1	2	前	□1	
		インタラクティブ英語Ⅱ	1	2	後	□1	
		留学英語	2	2～4		△	
		中国語Ⅰ	1	2	前	□	
		中国語Ⅱ	1	2	後	□	
		フランス語Ⅰ	1	2	前	□	
		フランス語Ⅱ	1	2	後	□	
		スペイン語Ⅰ	1	2	前	□	
		スペイン語Ⅱ	1	2	後	□	
		海外語学研修	1	1～4		△	
		日本語Ⅰ	1	1	前	□*	
		日本語Ⅱ	1	2	後	□*	
		日本語Ⅲ	1	2	前	□*	
日本語Ⅳ	1	2	前	□*			

2.2 生物環境化学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						バイオサイエンス	食品生物資源	エネルギー・環境	
専門科目	基礎	数学Ⅰ	2	1	前	△	△	△	△*は、教職課程履修者*のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
		数学Ⅱ	2	1	後	△	△	△	
		物理学Ⅰ	2	1	前	△	△	△	
		物理学Ⅱ	2	1	後	△	△	△	
	コア	生物学Ⅰ	2	1	前	○	○	○	
		生物学Ⅱ	2	1	後	□	□	□	
		物理化学Ⅰ	2	2	前	○	○	○	
		物理化学Ⅱ	2	2	後	□	□	□	
		有機化学Ⅰ	2	1	前	○	○	○	
		有機化学Ⅱ	2	1	後	□	□	□	
		無機化学Ⅰ	2	1	前	○	○	○	
		無機化学Ⅱ	2	1	後	□	□	□	
		分析化学	2	1	後	□	□	□	
		地学概論	4	2	通年	△*	△*	△*	
		アカデミック有機化学Ⅱ	2	2	後	△	△	△	
		環境材料化学	2	3	前	△	△	□	
		生物資源利用学	2	3	前	△	□	△	
		栄養化学	2	3	後	△	△	△	
		バイオ分析化学	2	2	前	□	□	△	
		アカデミック物理化学	2	2・3	後	△	△	□	
		アカデミック有機化学Ⅰ	2	2・3	前	△	△	□	
		生物環境化学特別講義Ⅰ	2	1~4	前	△	△	△	
		生物環境化学特別講義Ⅱ	2	2・3・4	後	△	△	△	
		生理学	2	2	後	□	□	△	
	公衆衛生学	2	3	後	△	□	△		
	分光分析法	2	2	後	△	△	△		
	卒業研究	6	4	通年	○	○	○		
	実験・演習	生物環境化学基礎実験	3	1	前	○	○	○	
		環境化学基礎実験	3	1	後	○	○	○	
		生物化学基礎実験	3	2	前	○	○	○	
		物質化学基礎実験	3	2	後	○	○	○	
		環境化学実験	3	3	前	○	○	○	
		物質化学実験	3	3	前	○	○	○	
		生物化学実験	3	3	後	○	○	○	
		生物環境化学実験	3	3	後	○	○	○	
	展開（環境化学系）	公害防止管理	2	2	後	△	△	□	
環境バイオテクノロジー		2	2	後	△	□	□		
環境とバイオの統計学		2	2	前	□	△	△		
資源エネルギー化学		2	3	前	△	△	□		
環境生物学		2	3	前	□	△	△		
食品衛生学		2	2	後	△	□	△		
環境計量学		2	3	前	△	△	□		
生物化学Ⅰ		2	2	前	□	□	△		
生物化学Ⅱ		2	2	後	△	△	△		
分子遺伝学		2	3	前	□	△	△		

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						バイオサイエンス	食品生物資源	エネルギー・環境	
専門科目	展開 (生物化学系)	生物有機化学	2	3	前	□	△	△	
		バイオセンシング	2	3	前前	△	△	△	
		微生物学	2	2	前前	△	□	△	
		微生物バイオテクノロジー	2	3	前後	□	□	△	
		遺伝子工学	2	3	後後	□	△	△	
		食品化学	2	3	後	△	□	△	
		食品保存学	2	3	前前	△	□	△	
		栄養学	2	1	前	△	△	△	
	展開 (材料化学系)	高分子合成化学	2	3	前	△	△	△	
		高分子物性	2	3	後	△	△	△	
		化学と安全	2	1	後	△	△	□	
		分子シミュレーション	2	3	前	△	△	□	
		固体化学	2	2	後	△	△	□	
		先端無機材料化学	2	3	前	△	△	△	
		先端有機材料化学	2	3	前	△	△	△	
		有機合成化学	2	3	後	△	△	△	
生体機能分子化学	2	3	後	△	△	△			

生物環境化学科 バイオサイエンスコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	○ 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ		<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修		<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ 生物学 I	2	○ 物理化学 I	2	○ 環境化学実験	3	○ 卒業研究	6	△*は、教職課程履修者 [※] のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
	○ 有機化学 I	2	○ 生物化学基礎実験	3	○ 物質化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 I	2	
	○ 無機化学 I	2	○ 物質化学基礎実験	3	○ 生物化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 II	2	
	○ 生物環境化学基礎実験	3	□ 物理化学 II	2	○ 生物環境化学実験	3			
	○ 環境化学基礎実験	2	□ バイオ分析化学	2	□ 環境生物学	2			
	□ 生物学 II	2	□ 生理学	2	□ 分子遺伝学	2			
	□ 有機化学 II	2	□ 環境とバイオの統計学	2	□ 生物有機化学	2			
	□ 無機化学 II	2	□ 生物化学 I	2	□ 微生物バイオテクノロジー	2			
	□ 分析化学	2	△ アカデミック有機化学 II	2	□ 遺伝子工学	2			
	△ 数学 I	2	△ アカデミック物理化学	2	△ 生物資源利用学	2			
	△ 数学 II	2	△ アカデミック有機化学 I	2	△ 栄養化学	2			
	△ 物理学 I	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ アカデミック物理化学	2			
	△ 物理学 II	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ アカデミック有機化学 I	2			
	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 分光分析法	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2			
	△ 栄養学	2	△ 公害防止管理	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2			
	△ 化学と安全	2	△ 環境バイオテクノロジー	2	△ 公衆衛生学	2			
			△ 食品衛生学	2	△ 資源エネルギー化学	2			
			△ 生物化学 II	2	△ 環境計量学	2			
			△ 微生物学	2	△ バイオセンシング	2			
			△ 固体化学	2	△ 食品化学	2			
			△* 地学概論	4	△ 食品保存学	2			
					△ 高分子合成化学	2			
					△ 高分子物性	2			
					△ 分子シミュレーション	2			
					△ 先端無機材料化学	2			
					△ 先端有機材料化学	2			
					△ 有機合成化学	2			
					△ 生体機能分子化学	2			
				△ 環境材料化学	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 所属するコースで開講されている専門科目の中から必修科目38単位、選択必修科目14単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※ 教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

生物環境化学科 食品生物資源コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	○ 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ 生物学 I	2	○ 物理化学 I	2	○ 環境化学実験	3	○ 卒業研究	6	△*は、教職課程履修者 [※] のみ履修できる。 [※] Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
	○ 有機化学 I	2	○ 生物化学基礎実験	3	○ 物質化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 I	2	
	○ 無機化学 I	2	○ 物質化学基礎実験	3	○ 生物化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 II	2	
	○ 生物環境化学基礎実験	3	□ 物理化学 II	2	○ 生物環境化学実験	3			
	○ 環境化学基礎実験	3	□ バイオ分析化学	2	□ 生物資源利用学	2			
	□ 生物学 II	2	□ 生理学	2	□ 公衆衛生学	2			
	□ 有機化学 II	2	□ 環境バイオテクノロジー	2	□ 微生物バイオテクノロジー	2			
	□ 無機化学 II	2	□ 食品衛生学	2	□ 食品化学	2			
	□ 分析化学	2	□ 生物化学 I	2	□ 食品保存学	2			
	△ 数学 I	2	□ 微生物学	2	△ 栄養化学	2			
	△ 数学 II	2	△ アカデミック有機化学 II	2	△ アカデミック物理化学	2			
	△ 物理学 I	2	△ アカデミック物理化学	2	△ アカデミック有機化学 I	2			
	△ 物理学 II	2	△ アカデミック有機化学 I	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2			
	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2			
	△ 栄養学	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ 資源エネルギー化学	2			
	△ 化学と安全	2	△ 分光分析法	2	△ 環境生物学	2			
			△ 公害防止管理	2	△ 環境計量学	2			
			△ 環境とバイオの統計学	2	△ 分子遺伝学	2			
			△ 生物化学 II	2	△ 生物有機化学	2			
			△ 固体化学	2	△ バイオセンシング	2			
			△* 地学概論	4	△ 遺伝子工学	2			
					△ 高分子合成化学	2			
					△ 高分子物性	2			
					△ 分子シミュレーション	2			
					△ 先端無機材料化学	2			
					△ 先端有機材料化学	2			
					△ 有機合成化学	2			
					△ 生体機能分子化学	2			
				△ 環境材料化学	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目 9 単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 所属するコースで開講されている専門科目の中から必修科目38単位、選択必修科目14単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

生物環境化学科 エネルギー・環境コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
第2群			△ インターンシップ	2					第2群の□から2単位以上 修得すること
			△ 教養特殊講義A	2					
	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
第3群			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					第3群の○から2単位以上 修得すること
			<input type="checkbox"/> 日本文学論	2					
			△ 教養特殊講義B	2					
	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
第4群	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2				第4群の□から1単位以上 修得すること	
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間デザイン	2			
第5群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2				第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる	
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	○ 英語Ⅰ	1	□1 実用英語Ⅰ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修		1
	○ 英語Ⅱ	1	□1 実用英語Ⅱ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語		2
	○ 英語Ⅲ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	□* 日本語Ⅰ	1	□* 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	□* 日本語Ⅲ	1					
			□* 日本語Ⅳ	1					
			□ 中国語Ⅰ	1					
			□ 中国語Ⅱ	1					
			□ フランス語Ⅰ	1					
		□ フランス語Ⅱ	1						
		□ スペイン語Ⅰ	1						
		□ スペイン語Ⅱ	1						
		△ 海外語学研修	1						
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ 生物学 I	2	○ 物理化学 I	2	○ 環境化学実験	3	○ 卒業研究	6	△*は、教職課程履修者 [※] のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
	○ 有機化学 I	2	○ 生物化学基礎実験	3	○ 物質化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 I	2	
	○ 無機化学 I	2	○ 物質化学基礎実験	3	○ 生物化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 II	2	
	○ 生物環境化学基礎実験	3	□ 物理化学 II	2	○ 生物環境化学実験	3			
	○ 環境化学基礎実験	3	□ アカデミック物理化学	2	□ アカデミック物理化学	2			
	□ 生物学 II	2	□ アカデミック有機化学 I	2	□ アカデミック有機化学 I	2			
	□ 有機化学 II	2	□ 公害防止管理	2	□ 資源エネルギー化学	2			
	□ 無機化学 II	2	□ 環境バイオテクノロジー	2	□ 環境計量学	2			
	□ 分析化学	2	□ 固体化学	2	□ 分子シミュレーション	2			
	□ 化学と安全	2	△ アカデミック有機化学 II	2	□ 環境材料化学	2			
	△ 数学 I	2	△ バイオ分析化学	2	△ 生物資源利用学	2			
	△ 数学 II	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 栄養化学	2			
	△ 物理学 I	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2			
	△ 物理学 II	2	△ 生理学	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2			
	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 分光分析法	2	△ 公衆衛生学	2			
	△ 栄養学	2	△ 環境とバイオの統計学	2	△ 環境生物学	2			
			△ 食品衛生学	2	△ 分子遺伝学	2			
			△ 生物化学 I	2	△ 生物有機化学	2			
			△ 生物化学 II	2	△ バイオセンシング	2			
			△ 微生物学	2	△ 微生物バイオテクノロジー	2			
			△* 地学概論	4	△ 遺伝子工学	2			
					△ 食品化学	2			
					△ 食品保存学	2			
					△ 高分子合成化学	2			
					△ 高分子物性	2			
					△ 先端無機材料化学	2			
					△ 先端有機材料化学	2			
					△ 有機合成化学	2			
				△ 生体機能分子化学	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 所属するコースで開講されている専門科目の中から必修科目38単位、選択必修科目14単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

2.3 電気電子工学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						応用エレクトロニクス	エネルギー・環境	情報通信	
専門科目	基礎	基礎数学	2	1	前	○	○	○	応用エレクトロニクスコース □6：10単位以上 エネルギー・環境コース □6：12単位以上 情報通信コース □6：16単位以上
		基礎数学演習	2	1	前後	○	○	○	
		電気電子数学	2	1	後	○	○	○	
		電気電子数学演習	2	1	後	○	○	○	
		応用数学Ⅰ	2	2	前	□6	□6	□6	
		応用数学Ⅱ	2	3	前	□6	□6	□6	
		初等電磁気学	2	1	前	○	○	○	
		初等信号理論	2	1	前	○	○	○	
		シミュレーション	2	1	後	○	○	○	
		コンピュータ概論	2	1	後	○	○	○	
		エレクトロニクス概論	2	1	前	○	○	○	
	電気基礎	電磁気学Ⅰ	2	1	後	○	○	○	
		電磁気学Ⅱ	2	2	前	○	○	□6	
		電気回路Ⅰ	2	1	前	○	○	○	
		電気回路Ⅰ演習	2	1	後	○	○	○	
		電気回路Ⅱ	2	1	後	○	○	○	
		電気回路Ⅲ	2	2	後	○	○	□6	
	電子工学	電子回路Ⅰ	2	2	前	○	○	○	
		電子回路Ⅰ演習	2	2	前	○	○	○	
		電子回路Ⅱ	2	2	後	○	○	□6	
		電子回路設計	2	3	前	○	○	△	
		計測工学	2	2	後	○	○	○	
		電気材料物性	2	3	前	□6	□6	△	
		半導体工学	2	3	前	□6	△	△	
		集積回路	2	3	後	○	△	□6	
	電力工学	電力システム概論	2	2	後	□6	○	△	
		電気機器	2	3	前	△	○	△	
		パワーエレクトロニクス	2	3	後	△	○	△	
		発電工学	2	3	前	△	□6	△	
		送配電工学	2	3	前	△	□6	△	
		電気法規・施設管理	2	4	前	△	□6	△	
		エネルギー環境システム	2	3	後	○	○	△	
	計算機工学	計算機システム	2	2	前	○	○	○	
		論理回路	2	2	後	○	○	○	
		論理回路演習	2	2	後	□6	□6	□6	
		プログラミング	2	2	前	○	○	○	
プログラミング演習		2	2	前	○	○	○		
データ処理とプログラミング		2	2	後	○	△	○		
情報・通信システム	電磁波工学	2	3	前	□6	□6	□6		
	無線通信工学	2	3	後	□6	△	□6		
	情報通信工学	2	3	前	○	△	○		
	情報ネットワーク	2	3	後	□6	△	○		
	情報と職業	2	1	前	△	△	△		
	情報社会と倫理	2	1	後	△	△	△		
	情報と法	2	3	前	△	△	△		

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						応用エレクトロニクス	エネルギー・環境	情報通信	
専門科目	応用エレクトロニクス	システムプログラミング	2	2	後	○	△	○	
		制御工学	2	3	前	○	△	□6	
		組込み制御	2	3	前	○	△	○	
		ロボティクス	2	3	後	□6	△	□6	
		情報センシング	2	3	後	○	△	□6	
		情報メディア工学	2	4	前	△	△	□6	
	実験・実習	初等理工学実験	1	1	前	○	○	○	
		初等電気工学実験	1	1	後	○	○	○	
		電気工学基礎実験Ⅰ	2	2	前	○	○	○	
		電気工学基礎実験Ⅱ	2	2	後	○	○	○	
		電気電子情報工学実験Ⅰ	2	3	前	○	○	○	
		電気電子情報工学実験Ⅱ	2	3	後	○	○	○	
		電子情報設計プロジェクト	2	3	後	○	○	○	
		電子情報工学セミナー	2	3	後	○	○	○	
		電機設計・製図	2	4	前	△	□6	△	
卒業研究	6	4	通年	○	○	○			

電気電子工学科 応用エレクトロニクスコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	○ 英語Ⅰ	1	□1 実用英語Ⅰ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	□1 実用英語Ⅱ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	□* 日本語Ⅰ	1	□* 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	□* 日本語Ⅲ	1					
			□* 日本語Ⅳ	1					
			□ 中国語Ⅰ	1					
			□ 中国語Ⅱ	1					
			□ フランス語Ⅰ	1					
			□ フランス語Ⅱ	1					
			□ スペイン語Ⅰ	1					
			□ スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ 基礎数学	2	○ 電磁気学Ⅱ	2	○ 電子回路設計	2	○ 卒業研究	6	□6：10単位以上修得すること
	○ 基礎数学演習	2	○ 電気回路Ⅲ	2	○ 集積回路	2	△ 電気法規・施設管理	2	
	○ 電気電子数学	2	○ 電子回路Ⅰ	2	○ エネルギー環境システム	2	△ 情報メディア工学	2	
	○ 電気電子数学演習	2	○ 電子回路Ⅰ演習	2	○ 情報通信工学	2	△ 電機設計・製図	2	
	○ 初等電磁気学	2	○ 電子回路Ⅱ	2	○ 制御工学	2			
	○ 初等信号理論	2	○ 計測工学	2	○ 組込み制御	2			
	○ シミュレーション	2	○ 計算機システム	2	○ 情報センシング	2			
	○ コンピュータ概論	2	○ 論理回路	2	○ 電気電子情報工学実験Ⅰ	2			
	○ エレクトロニクス概論	2	○ プログラミング	2	○ 電気電子情報工学実験Ⅱ	2			
	○ 電磁気学Ⅰ	2	○ プログラミング演習	2	○ 電子情報設計プロジェクト	2			
	○ 電気回路Ⅰ	2	○ データ処理とプログラミング	2	○ 電子情報工学セミナー	2			
	○ 電気回路Ⅰ演習	2	○ システムプログラミング	2	□6 応用数学Ⅱ	2			
	○ 電気回路Ⅱ	2	○ 電気工学基礎実験Ⅰ	2	□6 電磁波工学	2			
	○ 初等理工学実験	1	○ 電気工学基礎実験Ⅱ	2	□6 電気材料物性	2			
	○ 初等電気工学実験	1	□6 電力システム概論	2	□6 半導体工学	2			
	△ 情報と職業	2	□6 論理回路演習	2	□6 無線通信工学	2			
	△ 情報社会と倫理	2	□6 応用数学Ⅰ	2	□6 情報ネットワーク	2			
					□6 ロボティクス	2			
					△ 電気機器	2			
					△ パワーエレクトロニクス	2			
				△ 発変電工学	2				
				△ 送配電工学	2				
				△ 情報と法	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている教養教育科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (5) 3年次に開講されている専門科目のうち、『電気電子情報工学実験Ⅰ』、『電気電子情報工学実験Ⅱ』、『電子情報設計プロジェクト』、『電子情報工学セミナー』の4科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 応用エレクトロニクスコースにおいては、教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 応用エレクトロニクスコースにおいては、専門科目の中から必修科目84単位、選択必修科目10単位以上を含む総計94単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

電気電子工学科 エネルギー・環境コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	○ 英語Ⅰ	1	□1 実用英語Ⅰ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	□1 実用英語Ⅱ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	□* 日本語Ⅰ	1	□* 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	□* 日本語Ⅲ	1					
			□* 日本語Ⅳ	1					
			□ 中国語Ⅰ	1					
			□ 中国語Ⅱ	1					
			□ フランス語Ⅰ	1					
			□ フランス語Ⅱ	1					
			□ スペイン語Ⅰ	1					
			□ スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="checkbox"/> 基礎数学	2	<input type="checkbox"/> 電磁気学Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 電子回路設計	2	<input type="checkbox"/> 卒業研究	6	□6：12単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 基礎数学演習	2	<input type="checkbox"/> 電気回路Ⅲ	2	<input type="checkbox"/> 電気機器	2	<input type="checkbox"/> 6 電気法規・施設管理	2	
	<input type="checkbox"/> 電気電子数学	2	<input type="checkbox"/> 電子回路Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> パワーエレクトロニクス	2	<input type="checkbox"/> 6 電機設計・製図	2	
	<input type="checkbox"/> 電気電子数学演習	2	<input type="checkbox"/> 電子回路Ⅰ演習	2	<input type="checkbox"/> エネルギー環境システム	2	<input type="checkbox"/> △ 情報メディア工学	2	
	<input type="checkbox"/> 初等電磁気学	2	<input type="checkbox"/> 電子回路Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 電気電子情報工学実験Ⅰ	2			
	<input type="checkbox"/> 初等信号理論	2	<input type="checkbox"/> 計測工学	2	<input type="checkbox"/> 電気電子情報工学実験Ⅱ	2			
	<input type="checkbox"/> シミュレーション	2	<input type="checkbox"/> 電力システム概論	2	<input type="checkbox"/> 電子情報設計プロジェクト	2			
	<input type="checkbox"/> コンピュータ概論	2	<input type="checkbox"/> 計算機システム	2	<input type="checkbox"/> 電子情報工学セミナー	2			
	<input type="checkbox"/> エレクトロニクス概論	2	<input type="checkbox"/> 論理回路	2	<input type="checkbox"/> 6 応用数学Ⅱ	2			
	<input type="checkbox"/> 電磁気学Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> プログラミング	2	<input type="checkbox"/> 6 電磁波工学	2			
	<input type="checkbox"/> 電気回路Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> プログラミング演習	2	<input type="checkbox"/> 6 電気材料物性	2			
	<input type="checkbox"/> 電気回路Ⅰ演習	2	<input type="checkbox"/> 電気工学基礎実験Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 6 発変電工学	2			
	<input type="checkbox"/> 電気回路Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 電気工学基礎実験Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 6 送配電工学	2			
	<input type="checkbox"/> 初等理工学実験	1	<input type="checkbox"/> 6 論理回路演習	2	<input type="checkbox"/> △ 半導体工学	2			
	<input type="checkbox"/> 初等電気工学実験	1	<input type="checkbox"/> 6 応用数学Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> △ 集積回路	2			
	<input type="checkbox"/> △ 情報と職業	2	<input type="checkbox"/> △ データ処理とプログラミング	2	<input type="checkbox"/> △ 無線通信工学	2			
	<input type="checkbox"/> △ 情報社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> △ システムプログラミング	2	<input type="checkbox"/> △ 情報通信工学	2			
					<input type="checkbox"/> △ 情報ネットワーク	2			
					<input type="checkbox"/> △ 制御工学	2			
					<input type="checkbox"/> △ 組み込み制御	2			
				<input type="checkbox"/> △ ロボティクス	2				
				<input type="checkbox"/> △ 情報センシング	2				
				<input type="checkbox"/> △ 情報と法	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている教養教育科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (5) 3年次に開講されている専門科目のうち、『電気電子情報工学実験Ⅰ』、『電気電子情報工学実験Ⅱ』、『電子情報設計プロジェクト』、『電子情報工学セミナー』の4科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) エネルギー・環境コースにおいては、教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) エネルギー・環境コースにおいては、専門科目の中から必修科目76単位、選択必修科目12単位以上を含む総計88単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

電気電子工学科 情報通信コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	○ 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、「□1」から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	○ 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="radio"/> 基礎数学	2	<input type="radio"/> 電子回路Ⅰ	2	<input type="radio"/> 情報通信工学	2	<input type="radio"/> 卒業研究	6	□6：16単位以上修得すること
	<input type="radio"/> 基礎数学演習	2	<input type="radio"/> 電子回路Ⅰ演習	2	<input type="radio"/> 情報ネットワーク	2	<input type="checkbox"/> 6 情報メディア工学	2	
	<input type="radio"/> 電気電子数学	2	<input type="radio"/> 計測工学	2	<input type="radio"/> 組み込み制御	2	<input type="triangle-up"/> 電気法規・施設管理	2	
	<input type="radio"/> 電気電子数学演習	2	<input type="radio"/> 計算機システム	2	<input type="radio"/> 電気電子情報工学実験Ⅰ	2	<input type="triangle-up"/> 電機設計・製図	2	
	<input type="radio"/> 初等電磁気学	2	<input type="radio"/> 論理回路	2	<input type="radio"/> 電気電子情報工学実験Ⅱ	2			
	<input type="radio"/> 初等信号理論	2	<input type="radio"/> プログラミング	2	<input type="radio"/> 電子情報設計プロジェクト	2			
	<input type="radio"/> シミュレーション	2	<input type="radio"/> プログラミング演習	2	<input type="radio"/> 電子情報工学セミナー	2			
	<input type="radio"/> コンピュータ概論	2	<input type="radio"/> データ処理とプログラミング	2	<input type="checkbox"/> 6 応用数学Ⅱ	2			
	<input type="radio"/> エレクトロニクス概論	2	<input type="radio"/> システムプログラミング	2	<input type="checkbox"/> 6 電磁気学Ⅱ	2			
	<input type="radio"/> 電磁気学Ⅰ	2	<input type="radio"/> 電気工学基礎実験Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 6 集積回路	2			
	<input type="radio"/> 電気回路Ⅰ	2	<input type="radio"/> 電気工学基礎実験Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 6 無線通信工学	2			
	<input type="radio"/> 電気回路Ⅰ演習	2	<input type="checkbox"/> 6 電気回路Ⅲ	2	<input type="checkbox"/> 6 制御工学	2			
	<input type="radio"/> 電気回路Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 6 電子回路Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 6 ロボティクス	2			
	<input type="radio"/> 初等理工学実験	1	<input type="checkbox"/> 6 論理回路演習	2	<input type="checkbox"/> 6 情報センシング	2			
	<input type="radio"/> 初等電気工学実験	1	<input type="checkbox"/> 6 応用数学Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 6 電磁波工学	2			
	<input type="triangle-up"/> 情報と職業	2	<input type="triangle-up"/> 電力システム概論	2	<input type="triangle-up"/> 電子回路設計	2			
	<input type="triangle-up"/> 情報社会と倫理	2			<input type="triangle-up"/> 電気材料物性	2			
					<input type="triangle-up"/> 半導体工学	2			
					<input type="triangle-up"/> 電気機器	2			
					<input type="triangle-up"/> パワーエレクトロニクス	2			
				<input type="triangle-up"/> 発変電工学	2				
				<input type="triangle-up"/> 送配電工学	2				
				<input type="triangle-up"/> エネルギー環境システム	2				
				<input type="triangle-up"/> 情報と法	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- 2年間以上在学していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- 3年間以上在学していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- 所属するコースで1年次に開講されている教養教育科目における必修科目の全単位を修得していること
- 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- 3年次に開講されている専門科目のうち、『電気電子情報工学実験Ⅰ』、『電気電子情報工学実験Ⅱ』、『電子情報設計プロジェクト』、『電子情報工学セミナー』の4科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- 4年間以上在学していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- 情報通信コースにおいては、教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- 情報通信コースにおいては、専門科目の中から必修科目70単位、選択必修科目16単位以上を含む総計86単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

2.4 建築・デザイン学科総括表

令和2年度(2020年度)

分野	授業科目	開講年次	単位数	必修・選択		週授業時間数								備考	
				建築工学	建築・デザイン	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
基礎	数学及び演習	1	3	△	△	4									
	物理学	1	2	△	△		2								
構造	静定構造力学Ⅰ及び演習	1	3	○	○	4									
	静定構造力学Ⅱ及び演習	1	3	○	△		4								
	不静定構造力学及び演習	2	3	○	△			4							
	建築と構造	1	2	○	○	2									
	鉄筋コンクリート構造	2	2	○	△				2						
	鋼構造	3	2	○	△					2					
	構造設計及び演習	3	3	□6	△						4				□6：3単位以上
生産	建築材料	1	2	○	○	2									
	施工法Ⅰ	2	2	○	○			2							
	施工法Ⅱ	2	2	○	△				2						
	施工管理及び演習	3	3	□6	△					4					
環境	環境概論	2	2	○	○			2							
	建築と環境	2	2	□7	△				2						□7：4単位以上
	都市と環境	3	2	□7	△					2					
	建築設備の基礎	2	2	○	○				2						
	建築設備の計画	3	2	□7	△					2					
	設備設計及び演習	3	3	□6	△						4				
計画	環境とデザイン	1	2	□8	□9	2									□8：10単位以上 □9：4単位以上
	近現代建築論	1	2	□8	□9		2								
	住まいの計画	2	2	□8	□9			2							
	地域施設の計画	2	2	□8	□9				2						
	建築計画	3	2	□8	□9					2					
	空間造形	3	2	□8	□9					2					
	都市計画	3	2	□8	△						2				
造形・表現	基礎造形	1	3	△	△	4									
	造形演習	1	3	△	△		4								
	デザイン企画論	2	2	△	△			2							
	インテリアデザイン論	3	2	△	△				2						
	インテリアデザイン演習	3	3	△	△					4					
	画像設計演習	2	3	△	△				4						
	視覚表現演習	3	3	△	△					4					
	建築メディア論	3	2	△	△						2				
プレゼンテーション演習	3	3	△	△						4					
設計	建築・デザイン演習Ⅰ	1	3	○	○	4									
	建築・デザイン演習Ⅱ	1	3	○	○		4								
	建築設計Ⅰ	2	3	○	○			4							
	建築設計Ⅱ	2	3	○	△				4						
	建築設計Ⅲ	3	3	○	△					4					
	建築設計Ⅳ	3	3	□6	△						4				
	CADトレーニング	2	2	△	△			4							
共通	建築工学実験	2	2	○	△				4						
	建築法規	3	2	○	○					2					
	建築技術者倫理	3	2	△	△					2					
	プロジェクト研究	3	3	○	○						4				
	卒業研究	4	6	○	○							(10)	(10)		

(注) 1. 表中の記号は、○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目を表します。
 2. 表中の週授業時間数2時間は、1週に1時限を意味します。

建築・デザイン学科 建築工学コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
			△ 教養特殊講義A	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
		<input type="checkbox"/> 日本文学論	2						
		△ 教養特殊講義B	2						
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
		<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2						
第5群	○ 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="radio"/> 静定構造力学Ⅰ及び演習	3	<input type="radio"/> 不静定構造力学及び演習	3	<input type="radio"/> 鋼構造	2	<input type="radio"/> 卒業研究	6	<input type="checkbox"/> 1 : 2単位以上
	<input type="radio"/> 静定構造力学Ⅱ及び演習	3	<input type="radio"/> 鉄筋コンクリート構造	2	<input type="radio"/> プロジェクト研究	3			<input type="checkbox"/> 2 : 4単位以上
	<input type="radio"/> 建築と構造	2	<input type="radio"/> 施工法Ⅰ	2	<input type="radio"/> 建築設計Ⅲ	3			<input type="checkbox"/> 3 : 10単位以上
	<input type="radio"/> 建築材料	2	<input type="radio"/> 施工法Ⅱ	2	<input type="radio"/> 建築法規	2			
	<input type="radio"/> 建築・デザイン演習Ⅰ	3	<input type="radio"/> 環境概論	2	<input type="checkbox"/> 1 施工管理及び演習	3			
	<input type="radio"/> 建築・デザイン演習Ⅱ	3	<input type="radio"/> 建築設備の基礎	2	<input type="checkbox"/> 1 建築設計Ⅳ	3			
	<input type="checkbox"/> 3 環境とデザイン	2	<input type="radio"/> 建築設計Ⅰ	3	<input type="checkbox"/> 1 設備設計及び演習	3			
	<input type="checkbox"/> 3 近現代建築論	2	<input type="radio"/> 建築設計Ⅱ	3	<input type="checkbox"/> 1 構造設計及び演習	3			
	<input type="triangle"/> 数学及び演習	3	<input type="radio"/> 建築工学実験	2	<input type="checkbox"/> 2 都市と環境	2			
	<input type="triangle"/> 物理学	2	<input type="checkbox"/> 2 建築と環境	2	<input type="checkbox"/> 2 建築設備の計画	2			
	<input type="triangle"/> 基礎造形	3	<input type="checkbox"/> 3 住まいの計画	2	<input type="checkbox"/> 3 建築計画	2			
	<input type="triangle"/> 造形演習	3	<input type="checkbox"/> 3 地域施設の計画	2	<input type="checkbox"/> 3 空間造形	2			
			<input type="triangle"/> デザイン企画論	2	<input type="checkbox"/> 3 都市計画	2			
			<input type="triangle"/> 画像設計演習	3	<input type="triangle"/> インテリアデザイン論	2			
			<input type="triangle"/> CADトレーニング	2	<input type="triangle"/> インテリアデザイン演習	3			
					<input type="triangle"/> 視覚表現演習	3			
					<input type="triangle"/> 建築メディア論	2			
					<input type="triangle"/> プレゼンテーション演習	3			
				<input type="triangle"/> 建築技術者倫理	2				

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 1年次に開講されている専門科目のうち、『建築・デザイン演習Ⅰ』、『建築・デザイン演習Ⅱ』、『静定構造力学Ⅰ及び演習』、『建築と構造』の4科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の英語科目における必修／選択必修科目の中から4単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 建築工学コースにおいては、専門科目の中から必修科目53単位、選択必修科目17単位以上を含む総計80単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

建築・デザイン学科 建築・デザインコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="checkbox"/> インターンシップ	2			
	<input type="checkbox"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="checkbox"/> インターンシップ	2					
			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
		<input type="checkbox"/> 日本文学論	2						
		<input type="checkbox"/> 教養特殊講義B	2						
第3群	<input type="checkbox"/> 基礎ゼミ	2	<input type="checkbox"/> 論理的表現法Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 就職計画	2			
	<input type="checkbox"/> 科学的問題解決法	2	<input type="checkbox"/> 論理的表現法Ⅱ	2					
	<input type="checkbox"/> ライフデザイン	2	<input type="checkbox"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="checkbox"/> 日本語の技法	1	<input type="checkbox"/> 情報処理Ⅲ	2					
	<input type="checkbox"/> 情報処理Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="checkbox"/> 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	<input type="checkbox"/> 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	<input type="checkbox"/> 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 留学英語	2	
	<input type="checkbox"/> 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1			
	<input type="checkbox"/> 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1					
			<input type="checkbox"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="radio"/> 静定構造力学Ⅰ及び演習	3	<input type="radio"/> 施工法Ⅰ	2	<input type="radio"/> 建築法規	2	<input type="radio"/> 卒業研究	6	<input type="checkbox"/> 4: 4単位以上修得すること
	<input type="radio"/> 建築と構造	2	<input type="radio"/> 環境概論	2	<input type="radio"/> プロジェクト研究	3			
	<input type="radio"/> 建築材料	2	<input type="radio"/> 建築設備の基礎	2	<input type="checkbox"/> 4 建築計画	2			
	<input type="radio"/> 建築・デザイン演習Ⅰ	3	<input type="radio"/> 建築設計Ⅰ	3	<input type="checkbox"/> 4 空間造形	2			
	<input type="radio"/> 建築・デザイン演習Ⅱ	3	<input type="checkbox"/> 4 住まいの計画	2	<input type="triangle"/> 鋼構造	2			
	<input type="triangle"/> 数学及び演習	3	<input type="checkbox"/> 4 地域施設の計画	2	<input type="triangle"/> 構造設計及び演習	3			
	<input type="triangle"/> 物理学	2	<input type="triangle"/> 不静定構造力学及び演習	3	<input type="triangle"/> 施工管理及び演習	3			
	<input type="triangle"/> 静定構造力学Ⅱ及び演習	3	<input type="triangle"/> 鉄筋コンクリート構造	2	<input type="triangle"/> 都市と環境	2			
	<input type="checkbox"/> 4 環境とデザイン	2	<input type="triangle"/> 施工法Ⅱ	2	<input type="triangle"/> 建築設備の計画	2			
	<input type="checkbox"/> 4 近現代建築論	2	<input type="triangle"/> 建築と環境	2	<input type="triangle"/> 設備設計及び演習	3			
	<input type="triangle"/> 基礎造形	3	<input type="triangle"/> デザイン企画論	2	<input type="triangle"/> 都市計画	2			
	<input type="triangle"/> 造形演習	3	<input type="triangle"/> 画像設計演習	3	<input type="triangle"/> インテリアデザイン論	2			
	<input type="triangle"/> 造形演習	3	<input type="triangle"/> 建築設計Ⅱ	3	<input type="triangle"/> インテリアデザイン演習	3			
			<input type="triangle"/> CADトレーニング	2	<input type="triangle"/> 視覚表現演習	3			
			<input type="triangle"/> 建築工学実験	2	<input type="triangle"/> 建築メディア論	2			
					<input type="triangle"/> プレゼンテーション演習	3			
					<input type="triangle"/> 建築設計Ⅲ	3			
					<input type="triangle"/> 建築設計Ⅳ	3			
					<input type="triangle"/> 建築技術者倫理	2			

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 1年次に開講されている専門科目のうち、『建築・デザイン演習Ⅰ』、『建築・デザイン演習Ⅱ』、『静定構造力学Ⅰ及び演習』、『建築と構造』の4科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の英語科目における必修／選択必修科目の中から4単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 建築・デザインコースにおいては、専門科目の中から必修科目33単位、選択必修科目4単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

2.5 情報学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						情報エンジニアリング	メディア情報	データサイエンス	
専門科目	数学	数学	2	1	前	△	△	△	メディア情報コース □1から6単位以上, □2から2単位以上修得すること
		数学演習	2	1	前後	△	△	△	
		情報数学	2	1	後	△	△	△	
		情報数学演習	2	1	後	△	△	△	
		応用数学	2	2	前	△	△	△	
		応用情報数学	2	2	前後	△	△	○	
		多変量解析	2	2	後	△	△	○	
	基礎・理論	コンピュータ概論Ⅰ	2	1	前	○	○	○	
		コンピュータ概論Ⅱ	2	1	後	○	○	○	
		ネットワークと通信の理論	2	2	前	△	△	△	
		情報と符号の理論	2	2	後	△	△	△	
		計算の複雑さ	2	3	前	△	△	△	
		暗号とセキュリティの理論	2	3	後	△	△	△	
	マネジメント・資格支援	情報システム概論	2	1	後	○	□1	△	
		プロジェクト管理	2	2	後	○	□1	△	
		プロフェッショナルデザイン	2	2	後	△	□1	△	
	情報と社会	情報と職業	2	1	前	△	□1	△	
		情報社会と倫理	2	1	後	△	□1	△	
		情報と法	2	3	前	△	□1	△	
	プログラミング	プログラミングⅠ	2	1	前	○	○	○	
		プログラミングⅡ	2	1	後	○	△	△	
		データ構造とアルゴリズム	2	2	前	○	△	△	
		データ構造とアルゴリズム演習	2	2	前	○	△	△	
		オブジェクト指向プログラミング	2	2	前	○	△	△	
		オブジェクト指向プログラミング演習	2	2	前	○	△	△	
		アドバンスドプログラミング	4	2	後	○	△	△	
		ソフトウェア工学	2	3	前	○	△	△	
		ソフトウェア分析・設計	2	3	前	○	△	△	
		ソフトウェア開発・展開	2	3	前	○	△	△	
	ソフトウェア開発演習	4	3	後	○	△	△		
	ネットワーク	コンピュータネットワーク	2	2	前	○	○	○	
		インターネット工学	2	3	前	○	△	△	
インターネット工学演習		2	3	前	△	△	△		
ネットワークセキュリティ		2	3	後	△	△	△		
ネットワークセキュリティ演習		4	3	後	△	△	△		
コンテンツ系	マルチメディア	2	1	後	△	○	△		
	コンピュータ音楽	2	2	前	△	△	△		
	Webコンテンツ制作	2	2	後	△	□2	△		
	Webコンテンツ企画設計	2	3	前	△	△	△		
	画像処理	2	3	前	△	○	△		
	コンピュータグラフィックス	2	3	前	△	□2	△		
	ゲームとシナリオのデザイン	2	3	前	△	△	△		
	映像表現	2	3	後	△	△	△		
	プロダクションワーク	2	3	後	△	○	△		

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						情報エンジニアリング	メディア情報	データサイエンス	
専門科目	統計ソフトウェア・可視化	統計ソフトウェアⅠ	2	2	前	△	△	△	
		統計ソフトウェアⅡ	2	2	後	△	△	△	
		深層学習	2	3	前	△	△	△	
		データマイニングと可視化	2	3	後	△	△	△	
	情報の知的処理	シミュレーション	2	2	前	△	△	△	
		知識工学	2	2	後	△	△	△	
		知識工学演習	2	2	後	△	△	△	
		データベース	2	2	後	○	△	○	
		データベース演習	2	2	後	○	△	○	
		データサイエンス	2	3	後	△	△	○	
	関連	データ分析演習	2	3	後	△	△	○	
		情報学概論	2	2	前	○	○	○	
		情報学序論	2	2	後	○	○	○	
		情報学プロジェクトⅠ	2	3	前	○	○	○	
		情報学プロジェクトⅡ	2	3	後	○	○	○	
卒業研究	6	4	通年	○	○	○			

情報学科 情報エンジニアリングコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
		△ インターンシップ	2						
		△ 教養特殊講義A	2						
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
		<input type="checkbox"/> 日本文学論	2						
		△ 教養特殊講義B	2						
第3群	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
		<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2						
第5群	○ 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

教養教育科目

	1年		2年		3年		4年		備考			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数				
専 門 科 目	○	コンピュータ概論Ⅰ	2	○	データ構造とアルゴリズム	2	○	ソフトウェア工学	2	○	卒業研究	6
	○	コンピュータ概論Ⅱ	2	○	データ構造とアルゴリズム演習	2	○	ソフトウェア分析・設計	2			
	○	情報システム概論	2	○	オブジェクト指向プログラミング	2	○	ソフトウェア開発・展開	2			
	○	プログラミングⅠ	2	○	オブジェクト指向プログラミング演習	2	○	ソフトウェア開発演習	4			
	○	プログラミングⅡ	2	○	アドバンスドプログラミング	4	○	インターネット工学	2			
	△	数学	2	○	コンピュータネットワーク	2	○	情報学プロジェクトⅠ	2			
	△	数学演習	2	○	プロジェクト管理	2	○	情報学プロジェクトⅡ	2			
	△	情報数学	2	○	データベース	2	△	計算の複雑さ	2			
	△	情報数学演習	2	○	データベース演習	2	△	暗号とセキュリティの理論	2			
	△	情報と職業	2	○	情報学概論	2	△	情報と法	2			
	△	情報社会と倫理	2	○	情報学序論	2	△	インターネット工学演習	2			
	△	マルチメディア	2	△	応用数学	2	△	ネットワークセキュリティ	2			
				△	応用情報数学	2	△	ネットワークセキュリティ演習	4			
				△	多変量解析	2	△	Webコンテンツ企画設計	2			
				△	ネットワークと通信の理論	2	△	画像処理	2			
				△	情報と符号の理論	2	△	コンピュータグラフィックス	2			
				△	プロフェッショナルデザイン	2	△	ゲームとシナリオのデザイン	2			
				△	コンピュータ音楽	2	△	映像表現	2			
				△	Webコンテンツ制作	2	△	プロダクションワーク	2			
				△	統計ソフトウェアⅠ	2	△	深層学習	2			
			△	統計ソフトウェアⅡ	2	△	データマイニングと可視化	2				
			△	シミュレーション	2	△	データサイエンス	2				
			△	知識工学	2	△	データ分析演習	2				
			△	知識工学演習	2							

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決』の2科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで2年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 3年次に開講されている専門科目のうち、『情報学プロジェクトⅠ』、『情報学プロジェクトⅡ』の2科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 情報エンジニアリングコースにおいては、専門科目の中から必修科目56単位を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

情報学科 メディア情報コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法Ⅰ	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			
	<input type="circle"/> 科学的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法Ⅱ	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理Ⅲ	2					
	<input type="circle"/> 情報処理Ⅰ	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	<input type="circle"/> 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、「□1」から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="circle"/> 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
		<input type="triangle"/> 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="checkbox"/> コンピュータ概論Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> コンピュータネットワーク	2	<input type="checkbox"/> 画像処理	2	<input type="checkbox"/> 卒業研究	6	□1から6単位以上、□2から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> コンピュータ概論Ⅱ	2	<input type="checkbox"/> 情報学概論	2	<input type="checkbox"/> プロダクションワーク	2			
	<input type="checkbox"/> プログラミングⅠ	2	<input type="checkbox"/> 情報学序論	2	<input type="checkbox"/> 情報学プロジェクトⅠ	2			
	<input type="checkbox"/> マルチメディア	2	<input type="checkbox"/> プロジェクト管理	2	<input type="checkbox"/> 情報学プロジェクトⅡ	2			
	<input type="checkbox"/> 情報システム概論	2	<input type="checkbox"/> プロフェッショナルデザイン	2	<input type="checkbox"/> 情報と法	2			
	<input type="checkbox"/> 情報と職業		<input type="checkbox"/> Webコンテンツ制作	2	<input type="checkbox"/> コンピュータグラフィックス	2			
	<input type="checkbox"/> 情報社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 応用数学	2	<input type="checkbox"/> 計算の複雑さ	2			
	<input type="checkbox"/> 数学	2	<input type="checkbox"/> 応用情報数学	2	<input type="checkbox"/> 暗号とセキュリティの理論	2			
	<input type="checkbox"/> 数学演習	2	<input type="checkbox"/> 多変量解析	2	<input type="checkbox"/> ソフトウェア工学	2			
	<input type="checkbox"/> 情報数学	2	<input type="checkbox"/> ネットワークと通信の理論	2	<input type="checkbox"/> ソフトウェア分析・設計	2			
	<input type="checkbox"/> 情報数学演習	2	<input type="checkbox"/> 情報と符号の理論	2	<input type="checkbox"/> ソフトウェア開発・展開	2			
	<input type="checkbox"/> プログラミングⅡ	2	<input type="checkbox"/> データ構造とアルゴリズム	2	<input type="checkbox"/> ソフトウェア開発演習	4			
		2	<input type="checkbox"/> データ構造とアルゴリズム演習	2	<input type="checkbox"/> インターネット工学	2			
			<input type="checkbox"/> オブジェクト指向プログラミング	2	<input type="checkbox"/> インターネット工学演習	2			
			<input type="checkbox"/> オブジェクト指向プログラミング演習	2	<input type="checkbox"/> ネットワークセキュリティ	2			
			<input type="checkbox"/> アドバンスドプログラミング	4	<input type="checkbox"/> ネットワークセキュリティ演習	4			
			<input type="checkbox"/> コンピュータ音楽	2	<input type="checkbox"/> Webコンテンツ企画設計	2			
			<input type="checkbox"/> 統計ソフトウェアⅠ	2	<input type="checkbox"/> ゲームとシナリオのデザイン	2			
			<input type="checkbox"/> 統計ソフトウェアⅡ	2	<input type="checkbox"/> 映像表現	2			
			<input type="checkbox"/> シミュレーション	2	<input type="checkbox"/> 深層学習	2			
		<input type="checkbox"/> 知識工学	2	<input type="checkbox"/> データマイニングと可視化	2				
		<input type="checkbox"/> 知識工学演習	2	<input type="checkbox"/> データサイエンス	2				
		<input type="checkbox"/> データベース	2	<input type="checkbox"/> データ分析演習	2				
		<input type="checkbox"/> データベース演習	2						

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- 2年間以上在学していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決』の2科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- 3年間以上在学していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- 所属するコースで2年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- 3年次に開講されている専門科目のうち、『情報学プロジェクトⅠ』、『情報学プロジェクトⅡ』の2科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- 4年間以上在学していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- メディア情報コースにおいては、専門科目の中から必修科目28単位、選択必修科目8単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

情報学科 データサイエンスコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="checkbox"/> インターンシップ	2			
	<input type="checkbox"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="checkbox"/> インターンシップ	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
第3群	<input type="checkbox"/> 基礎ゼミ	2	<input type="checkbox"/> 論理的表現法Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 就職計画	2			
	<input type="checkbox"/> 科学的問題解決法	2	<input type="checkbox"/> 論理的表現法Ⅱ	2					
	<input type="checkbox"/> ライフデザイン	2	<input type="checkbox"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="checkbox"/> 日本語の技法	1	<input type="checkbox"/> 情報処理Ⅲ	2					
	<input type="checkbox"/> 情報処理Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="checkbox"/> 情報処理Ⅱ	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
第5群	<input type="checkbox"/> 英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 実用英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、「□1」から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="checkbox"/> 英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 実用英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 留学英語	2	
	<input type="checkbox"/> 英語Ⅲ	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1			
	<input type="checkbox"/> 英語Ⅳ	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語Ⅱ	1	<input type="checkbox"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅰ	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅱ	1					
	<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅲ	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語Ⅳ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅰ	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語Ⅱ	1					
			<input type="checkbox"/> 海外語学研修	1					
		<input type="checkbox"/> 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ コンピュータ概論Ⅰ	2	○ 応用情報数学	2	○ データサイエンス	2	○ 卒業研究	6	
	○ コンピュータ概論Ⅱ	2	○ 多変量解析	2	○ データ分析演習	2			
	○ プログラミングⅠ	2	○ コンピュータネットワーク	2	○ 情報学プロジェクトⅠ	2			
	△ 数学	2	○ データベース	2	○ 情報学プロジェクトⅡ	2			
	△ 数学演習	2	○ データベース演習	2	△ 計算の複雑さ	2			
	△ 情報数学	2	○ 情報学概論	2	△ 暗号とセキュリティの理論	2			
	△ 情報数学演習	2	○ 情報学序論	2	△ 情報と法	2			
	△ 情報システム概論	2	△ 応用数学	2	△ ソフトウェア工学	2			
	△ 情報と職業	2	△ ネットワークと通信の理論	2	△ ソフトウェア分析・設計	2			
	△ 情報社会と倫理	2	△ 情報と符号の理論	2	△ ソフトウェア開発・展開	2			
	△ プログラミングⅡ	2	△ プロジェクト管理	2	△ ソフトウェア開発演習	4			
	△ マルチメディア	2	△ プロフェッショナルデザイン	2	△ インターネット工学	2			
			△ データ構造とアルゴリズム	2	△ インターネット工学演習	2			
			△ データ構造とアルゴリズム演習	2	△ ネットワークセキュリティ	2			
			△ オブジェクト指向プログラミング	2	△ ネットワークセキュリティ演習	4			
			△ オブジェクト指向プログラミング演習	2	△ Webコンテンツ企画設計	2			
			△ アドバンスドプログラミング	4	△ 画像処理	2			
			△ コンピュータ音楽	2	△ コンピュータグラフィックス	2			
			△ Webコンテンツ制作	2	△ ゲームとシナリオのデザイン	2			
			△ 統計ソフトウェアⅠ	2	△ 映像表現	2			
		△ 統計ソフトウェアⅡ	2	△ プロダクションワーク	2				
		△ シミュレーション	2	△ 深層学習	2				
		△ 知識工学	2	△ データマイニングと可視化	2				
		△ 知識工学演習	2						

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決』の2科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで2年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 3年次に開講されている専門科目のうち、『情報学プロジェクトⅠ』、『情報学プロジェクトⅡ』の2科目のいずれの単位も修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) データサイエンスコースにおいては、専門科目の中から必修科目34単位を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

2.6 経営ビジネス学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択		備考
						経営マネジメント	グローバル経営	
専門科目	基礎	経営ビジネス学入門	2	1	前	○	○	□から6単位以上修得すること
		基礎経営学	2	1	前	○	○	
		基礎経済学	2	1	前	○	○	
		基礎流通論	2	1	前	○	○	
		基礎簿記Ⅰ	2	1	前	○	○	
		地域マネジメント基礎論	2	1	後	○	○	
		ビジネス英語基礎	2	1	後	△	□	
		基礎情報システム論	2	1	後	△	△	
		基礎産業心理学	2	1	前	□	△	
	経営学・商学	経営管理論	2	1	後	□	□	
		経営戦略論	2	2	前	□	□	
		人的資源管理論	2	3	後	△	△	
		企業論	2	2	後	△	△	
		マーケティング論	2	1	後	○	○	
		流通システム論	2	2	後	△	△	
		データ分析	2	1	後	△	△	
		統計学	2	1	前	△	△	
		会社法	2	2	前	△	△	
		組織論	2	3	後	△	△	
		広告論	2	2	前	△	△	
		消費者行動論	2	3	前	△	△	
	マーケティングリサーチ	2	3	後	△	△		
	会計・財務	経営財務論	2	3	後	△	△	
		基礎簿記Ⅱ	2	1	後	□	□	
		会計学	2	2	前	□	△	
		財務諸表論Ⅰ	2	2	後	□	△	
		財務諸表論Ⅱ	2	3	前	△	△	
		原価管理	2	2	前	△	△	
		経営分析	2	3	後	△	△	
		税務会計	2	3	前	△	△	
		税法Ⅰ	2	2	後	△	△	
		税法Ⅱ	2	3	前	△	△	
	管理会計論	2	2	後	△	△		
	社会・工学	社会調査論	2	2	後	□	□	
		システムの基礎	2	1	前	△	△	
		産業心理学	2	2	後	△	△	
NPOマネジメント論		2	3	前	△	△		
地域ビジネス論		2	2	前	□	△		
地域経済分析		2	3	後	△	△		
スポーツマネジメント		2	2	後	△	△		
都市経営論	2	3	前	△	△			

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択		備考
						経営マネジメント	グローバル経営	
専門科目	グローバル	グローバル経営論	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		グローバル経済論	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		サステナビリティ論	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		比較経営論	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		アジア社会文化論	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		グローバル・スタディ	2	3	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		スポーツ社会学	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		スポーツ文化論	2	2	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		アジア企業論	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	コミュニケーション	外書講読	2	1	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ビジネス英語	2	2	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		英語コミュニケーションⅠ	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		英語コミュニケーションⅡ	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		中国語コミュニケーションⅠ	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		中国語コミュニケーションⅡ	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		韓国語会話	2	2	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		韓国語コミュニケーションⅠ	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		韓国語コミュニケーションⅡ	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	演習	フィールドワーク	4	3	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		会計処理演習	2	3	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		特別講義Ⅰ	2	1	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		特別講義Ⅱ	2	2	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		特別講義Ⅲ	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		特別講義Ⅳ	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	ゼミナール	プレゼミナールⅠ	2	2	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		プレゼミナールⅡ	2	2	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ゼミナールⅠ	2	3	前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
ゼミナールⅡ		2	3	後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
卒業研究		6	4	通年	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

経営ビジネス学科 経営マネジメントコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
第2群			△ インターンシップ	2					第2群の□から2単位以上 修得すること
			△ 教養特殊講義A	2					
	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
第3群			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					第3群の○から2単位以上 修得すること
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文学論	2					
			△ 教養特殊講義B	2					
	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
第4群	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					第4群の□から1単位以上 修得すること
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2					
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
第5群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
		<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2						
第5群	○ 英語Ⅰ	1	□1 実用英語Ⅰ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる
	○ 英語Ⅱ	1	□1 実用英語Ⅱ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語Ⅲ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	□* 日本語Ⅰ	1	□* 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	□* 日本語Ⅲ	1					
			□* 日本語Ⅳ	1					
			□ 中国語Ⅰ	1					
			□ 中国語Ⅱ	1					
			□ フランス語Ⅰ	1					
			□ フランス語Ⅱ	1					
			□ スペイン語Ⅰ	1					
			□ スペイン語Ⅱ	1					
			△ 海外語学研修	1					
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="radio"/> 経営ビジネス学入門	2	<input type="radio"/> プレゼミナールⅠ	2	<input type="radio"/> ゼミナールⅠ	2	<input type="radio"/> 卒業研究	6	□から6単位以上修得すること
	<input type="radio"/> 基礎経営学	2	<input type="radio"/> プレゼミナールⅡ	2	<input type="radio"/> ゼミナールⅡ	2			
	<input type="radio"/> 基礎経済学	2	<input type="checkbox"/> 経営戦略論	2	<input type="checkbox"/> グローバル経営論	2			
	<input type="radio"/> 基礎流通論	2	<input type="checkbox"/> 会計学	2	<input type="triangle-up"/> 人的資源管理論	2			
	<input type="radio"/> 基礎簿記Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 財務諸表論Ⅰ	2	<input type="triangle-up"/> 組織論	2			
	<input type="radio"/> 地域マネジメント基礎論	2	<input type="checkbox"/> 社会調査論	2	<input type="triangle-up"/> 消費者行動論	2			
	<input type="radio"/> マーケティング論	2	<input type="checkbox"/> 地域ビジネス論	2	<input type="triangle-up"/> マーケティングリサーチ	2			
	<input type="checkbox"/> 基礎産業心理学	2	<input type="checkbox"/> 比較経営論	2	<input type="triangle-up"/> 経営財務論	2			
	<input type="checkbox"/> 経営管理論	2	<input type="checkbox"/> ビジネス英語	2	<input type="triangle-up"/> 財務諸表論Ⅱ	2			
	<input type="checkbox"/> 基礎簿記Ⅱ	2	<input type="triangle-up"/> 企業論	2	<input type="triangle-up"/> 経営分析	2			
	<input type="triangle-up"/> ビジネス英語基礎	2	<input type="triangle-up"/> 流通システム論	2	<input type="triangle-up"/> 税務会計	2			
	<input type="triangle-up"/> 基礎情報システム論	2	<input type="triangle-up"/> 会社法	2	<input type="triangle-up"/> 税法Ⅱ	2			
	<input type="triangle-up"/> データ分析	2	<input type="triangle-up"/> 広告論	2	<input type="triangle-up"/> NPOマネジメント論	2			
	<input type="triangle-up"/> 統計学	2	<input type="triangle-up"/> 原価管理	2	<input type="triangle-up"/> 地域経済分析	2			
	<input type="triangle-up"/> システムの基礎	2	<input type="triangle-up"/> 税法Ⅰ	2	<input type="triangle-up"/> 都市経営論	2			
	<input type="triangle-up"/> 外書講読	2	<input type="triangle-up"/> 管理会計論	2	<input type="triangle-up"/> グローバル経済論	2			
	<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅰ		<input type="triangle-up"/> 産業心理学	2	<input type="triangle-up"/> サステナビリティ論	2			
			<input type="triangle-up"/> スポーツマネジメント	2	<input type="triangle-up"/> グローバル・スタディ	2			
			<input type="triangle-up"/> アジア社会文化論	2	<input type="triangle-up"/> スポーツ社会学	2			
			<input type="triangle-up"/> スポーツ文化論	2	<input type="triangle-up"/> 英語コミュニケーションⅡ	2			
			<input type="triangle-up"/> アジア企業論	2	<input type="triangle-up"/> 中国語コミュニケーションⅡ	2			
			<input type="triangle-up"/> 英語コミュニケーションⅠ	2	<input type="triangle-up"/> 韓国語コミュニケーションⅡ	2			
			<input type="triangle-up"/> 中国語コミュニケーションⅠ	2	<input type="triangle-up"/> フィールドワーク	4			
			<input type="triangle-up"/> 韓国語会話	2	<input type="triangle-up"/> 会計処理演習	2			
			<input type="triangle-up"/> 韓国語コミュニケーションⅠ	2	<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅳ	2			
			<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅱ	2					
			<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅲ	2					

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、「基礎ゼミ」、「科学的問題解決法」、「ライフデザイン」、「日本語の技法」、「情報処理Ⅰ」の5科目のいずれの単位も修得していること
- (4) 1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 3年次までに開講されている専門科目における所属するコースの選択必修科目の中から6単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 専門科目の中から必修科目28単位、所属するコースの選択必修科目6単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

経営ビジネス学科 グローバル経営コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上 修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
第2群			△ インターンシップ	2					第2群の□から2単位以上 修得すること
			△ 教養特殊講義A	2					
	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2	<input type="checkbox"/> 国際経済入門	2			
	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 国際社会と日本	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2	<input type="checkbox"/> 国際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 日本文学論	2			
	<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社会と情報	2					
第3群			<input type="checkbox"/> 地域社会と電気技術	2					第3群の○から2単位以上 修得すること
			<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文学論	2					
			△ 教養特殊講義B	2					
	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法Ⅰ	1	△ 就職計画	2			
	○ 科学的問題解決法	2	△ 論理的表現法Ⅱ	2					
○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2						
第4群	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理Ⅲ	2				第4群の□から1単位以上 修得すること	
	○ 情報処理Ⅰ	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理Ⅱ	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅠ	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツⅡ	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第5群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2				第5群の□から4単位以上 修得すること ただし、「□1」から2単位 以上を含めること □*は外国人留学生のみ履 修できる	
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	○ 英語Ⅰ	1	□1 実用英語Ⅰ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修		1
	○ 英語Ⅱ	1	□1 実用英語Ⅱ	1	□1 アドヴァンスト英語Ⅱ	1	△ 留学英語		2
	○ 英語Ⅲ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅰ	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語Ⅳ	1	□1 インタラクティブ英語Ⅱ	1	△ 留学英語	2			
	□* 日本語Ⅰ	1	□* 日本語Ⅱ	1					
	△ 海外語学研修	1	□* 日本語Ⅲ	1					
			□* 日本語Ⅳ	1					
			□ 中国語Ⅰ	1					
			□ 中国語Ⅱ	1					
			□ フランス語Ⅰ	1					
		□ フランス語Ⅱ	1						
		□ スペイン語Ⅰ	1						
		□ スペイン語Ⅱ	1						
		△ 海外語学研修	1						
		△ 留学英語	2						

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	<input type="radio"/> 経営ビジネス学入門	2	<input type="radio"/> プレゼミナールⅠ	2	<input type="radio"/> ゼミナールⅠ	2	<input type="radio"/> 卒業研究	6	□から6単位以上修得すること
	<input type="radio"/> 基礎経営学	2	<input type="radio"/> プレゼミナールⅡ	2	<input type="radio"/> ゼミナールⅡ	2			
	<input type="radio"/> 基礎経済学	2	<input type="checkbox"/> 経営戦略論	2	<input type="checkbox"/> グローバル経営論	2			
	<input type="radio"/> 基礎流通論	2	<input type="checkbox"/> 社会調査論	2	<input type="checkbox"/> グローバル経済論	2			
	<input type="radio"/> 基礎簿記Ⅰ	2	<input type="checkbox"/> 比較経営論	2	<input type="triangle-up"/> 人的資源管理論	2			
	<input type="radio"/> 地域マネジメント基礎論	2	<input type="checkbox"/> ビジネス英語	2	<input type="triangle-up"/> 組織論	2			
	<input type="radio"/> マーケティング論	2	<input type="checkbox"/> 中国語コミュニケーションⅠ	2	<input type="triangle-up"/> 消費者行動論	2			
	<input type="checkbox"/> ビジネス英語基礎	2	<input type="checkbox"/> 韓国語会話	2	<input type="triangle-up"/> マーケティングリサーチ	2			
	<input type="checkbox"/> 経営管理論	2	<input type="triangle-up"/> 企業論	2	<input type="triangle-up"/> 経営財務論	2			
	<input type="checkbox"/> 基礎簿記Ⅱ	2	<input type="triangle-up"/> 流通システム論	2	<input type="triangle-up"/> 財務諸表論Ⅱ	2			
	<input type="triangle-up"/> 基礎情報システム論	2	<input type="triangle-up"/> 会社法	2	<input type="triangle-up"/> 経営分析	2			
	<input type="triangle-up"/> 基礎産業心理学	2	<input type="triangle-up"/> 広告論	2	<input type="triangle-up"/> 税務会計	2			
	<input type="triangle-up"/> データ分析	2	<input type="triangle-up"/> 会計学	2	<input type="triangle-up"/> 税法Ⅱ	2			
	<input type="triangle-up"/> 統計学	2	<input type="triangle-up"/> 財務諸表論Ⅰ	2	<input type="triangle-up"/> NPOマネジメント論	2			
	<input type="triangle-up"/> システムの基礎	2	<input type="triangle-up"/> 原価管理	2	<input type="triangle-up"/> 地域経済分析	2			
	<input type="triangle-up"/> 外書講読	2	<input type="triangle-up"/> 税法Ⅰ	2	<input type="triangle-up"/> 都市経営論	2			
	<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅰ	2	<input type="triangle-up"/> 管理会計論	2	<input type="triangle-up"/> サステナビリティ論	2			
			<input type="triangle-up"/> 産業心理学	2	<input type="triangle-up"/> グローバル・スタディ	2			
			<input type="triangle-up"/> 地域ビジネス論	2	<input type="triangle-up"/> スポーツ社会学	2			
			<input type="triangle-up"/> スポーツマネジメント	2	<input type="triangle-up"/> 英語コミュニケーションⅡ	2			
			<input type="triangle-up"/> アジア社会文化論	2	<input type="triangle-up"/> 中国語コミュニケーションⅡ	2			
			<input type="triangle-up"/> スポーツ文化論	2	<input type="triangle-up"/> 韓国語コミュニケーションⅡ	2			
			<input type="triangle-up"/> アジア企業論	2	<input type="triangle-up"/> フィールドワーク	4			
			<input type="triangle-up"/> 英語コミュニケーションⅠ	2	<input type="triangle-up"/> 会計処理演習	2			
			<input type="triangle-up"/> 韓国語コミュニケーションⅠ	2	<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅳ	2			
			<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅱ	2					
			<input type="triangle-up"/> 特別講義Ⅲ	2					

【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、「基礎ゼミ」、「科学的問題解決法」、「ライフデザイン」、「日本語の技法」、「情報処理Ⅰ」の5科目のいずれの単位も修得していること
- (4) 1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 3年次までに開講されている教養教育および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 3年次までに開講されている専門科目における所属するコースの選択必修科目の中から6単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 専門科目の中から必修科目28単位、所属するコースの選択必修科目6単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

2.7 インターンシップ

インターンシップについて

インターンシップとは、自分の専攻や将来のキャリアに関連して就業体験することをいいます。在学中に一定の期間、企業や官公庁に出向いて実際の業務に携わる実地研修を行います。企業体験を通じて専攻分野と将来の職業に対する興味が高まるだけでなく、自らの職業観と社会観を確立させるのに有効です。もちろん、4年次での職業選択や就職活動にも大いに役立ちます。インターンシップ制度は今では日本のほとんどの大学で実施されていますが、産業理工学部では平成14年度から正課の授業科目として実施しています。インターンシップは大学と様々な分野の企業・官公庁が連携して行うものですが、まだ学生である皆さんを受け入れる事は受入先の大きな負担になります。このため、インターンシップに参加できるのは、所定の基準を満たした学生に限られます。

インターンシップの受講を希望する全ての学生は、まず2年次および3年次前期に「インターンシップ」のWeb履修登録を行い、その後、当学部で行われるインターンシップ事前学修を通じて、実地研修に最低限必要な事項を学修し、さらに各学科で実地研修へ進むための選抜を受けます。選抜基準には、各教科の成績だけでなく、コミュニケーション能力やチャレンジ精神、主体性、誠実性、協調性、責任感、礼儀など人格面や専攻分野の実技能力も重視されます。また、パソコンで報告書などの文書を迅速かつ正確に作成する能力も要求されます。事前学修後の選抜によって選ばれた学生は、夏季休暇中に企業・官公庁で実際の業務に携わる実地研修（10日間程度）を受けます。その後、後期になってから各学科で開催される報告会において、体験した業務の研修内容などについて、報告してもらいます。事前学修・実地研修・報告の3点を総合的に評価し、所定の成績を取めた人には単位（インターンシップ2単位）が認定されます。なお、学科によっては体験レポート等の提出も必要です。

インターンシップは2年次、3年次に配置されています。他の科目と異なり、2年次で履修して、さらに、3年次においても挑戦することもできます。

インターンシップ科目の履修登録や実施要領についてはユニパおよび掲示板を確認して下さい。

不明な点は3号館1階キャリア支援室（就職係）まで問い合わせて下さい。

インターンシップ（単位認定型）の主なスケジュール

- 4月上旬 **就職ガイダンス：インターンシップ説明会（2・3年生対象）**
 - ・ インターンシップを希望する学生は説明会に必ず出席して下さい。
 - ・ インターンシップ申込関係書類を配布します。
 - ・ インターンシップ登録申込書を期限までに提出して下さい。

提出先：3号館1階キャリア支援室（就職係）

※履修期間中に後期「インターンシップ」の履修登録を行って下さい。（後期には追加修正ができません。）
- 4月中旬 **事前学修Ⅰ、事前学修Ⅱ**
 - ・ 全ての事前学修への参加が必須となります。
 - ・ 資料配布（受入企業情報を開示）
- 5月下旬
 - ・ 希望調査を実施します。
- 6月上旬 **研修学生の決定**
 - ・ 希望調査に基づき研修希望先とのマッチングを実施し、研修学生をインターンシップオフィスで決定します。（事前学修出席状況も考慮し総合的に審査します。）
- 6月下旬 **研修先決定**
 - ・ 研修先を本人へ連絡後、企業への提出書類を交付します。
 - ・ 提出書類を記入後、キャリア支援室（就職係）へ提出して下さい。
- 7月中旬 **キャリア支援室（就職係）から受入企業へ必要書類を郵送します。**
 - ・ 「インターンシップ実習簿」を配布します。
- 夏休み **インターンシップ研修期間（10日間程度）**
 - ・ 研修期間中は毎日必ず各自で実習簿を記入して下さい。
- 9月中旬 **インターンシップ実習簿をキャリア支援室（就職係）へ提出して下さい。**

履修登録の修正…インターンシップの研修を行わなかった場合は修正期間中にユニパより履修削除を行って下さい。
- 後 期 **研修生報告会（各学科にて行われます。日程などの案内は掲示されます。）**

※上記以外に春季インターンシップ（1～3年生対象）や非単位認定型のインターンシップも実施されています。

詳しくは就職ガイダンスで説明があります。

近畿大学における教員養成の理念と目的

近畿大学は建学以来、未来志向の実学主義を掲げ、全人教育の実現に向けて邁進しながら、教育目標とする「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」の育成に取り組んできました。

本学教職教育部における教員養成もこの教育目標と全く軌を一にしています。すなわち、「人に愛される教師、信頼される教師、尊敬される教師」の養成、これが本学教員養成の理念です。この理念を実現することにより、本学が与えられた社会的使命の一端を果たしたいと考えます。

そのため、以下の目的に重点を置きながら、全学的な協力・指導体制をもってこの理念の実現に取り組み、「わが国の次世代を担う教育者」を養成します。

1. 真に教育者たるにふさわしい人間性の育成

人に愛され、尊敬され、信頼される教師となるためには、豊かな教養や子どもに対する愛情と理解を持つとともに、人と深く関わることのできるコミュニケーション能力や協調性、教育者としての使命感を備えていることが必要です。このような能力に裏づけられた豊かな人間性を育むことを目指します。

2. 教員に求められる専門性、実践的指導力の養成

現実に教員としての職責を全うするには、様々な課題を持つ子どもたちと向き合い、具体的かつ効果的な指導や援助ができなければなりません。そのために必要な専門的知識および技能の修得と実践的指導力の養成を目指します。

3. 自ら資質を向上させ続ける自己教育力の獲得

今日のような変化の激しい時代にあって、特に教員には、教職について後も、自己を教育者として、また人間として、生涯にわたって高めていくことが求められます。そのための不断の努力を可能にする自己教育力の獲得を目指します。

産業理工学部が目指す教師像

本学部では、「実学教育」と「人格の陶冶」という建学精神や「真に教育者たるにふさわしい人間性の育成」及び「教員に求められる専門性、実践的指導力の養成」という、大学全体の教員養成に対する理念・構想を受け、さらに、文理協働の新しい発想を持った教養ある社会人育成という本学部の目標に基づいて、以下のような高等学校教員の育成を目指している。

1. 理工学及び経営学という文理両方にまたがる幅広い専門分野を背景に、実践的教科指導力を有する教師

本学部では、高等学校一種の文系・理系4教科（生物環境化学科は理科・工業科、電気電子工学科は工業科・情報科、建築・デザイン学科は工業科、情報学科は情報科・工業科、経営ビジネス学科は商業科）の教員免許状が取得でき、なおかつ、本学部独自の特色として、真剣に教師を目指している学生に対しては、公立高等学校教員採用試験の個別対策指導や私立高等学校教員への就職斡旋等も実施している。単に教員免許状を取得させることが目的ではなく、各々の担当教科の教科指導力に秀で、学校現場での即戦力を身につけた教師を育成することに尽力している。このため、各学科の専門教育担当教員と教職課程専任教員が常に密接な連携を取り、「生徒の学力実態に即応した、分かりやすい授業を行うことができる能力」を実践的教科指導力と捉え、学部教授会、各学科会議、教職委員会、教務委員会等の場で教員養成に関する活発な意見交換を行っており、専門教育担当教員も本学部の教員養成方針や教員就職状況等について熟知し、学部全体をあげての教員養成体制を取っている。

2. 総合的な人間力を有する教師

本学部では学生一人ひとりの学問的・人間的成長を重視しているが、単に教科指導力に優れた教師ではなく、学部の特質である文理協働によって培われた、幅広い教養と円満な人間性を有する教師の育成を目指している。このため、特に、教職に関する科目の授業やゼミナール等の場で、教師の人間性育成に関する指導を全体的及び個別に徹底して行っている。

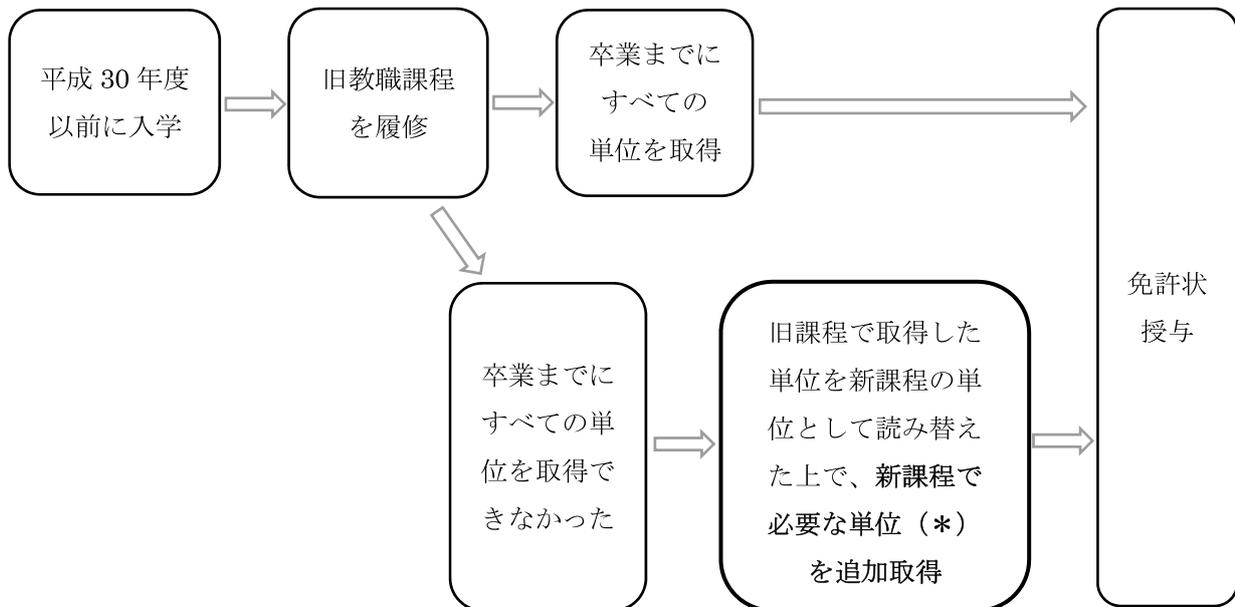
教職課程再課程認定に伴う履修単位の変更について

教職課程について、文部科学省により、「平成30年4月1日において免許状の所要資格を得させるための課程として認定を受けている教職課程が、平成31年4月以降も引き続き教職課程を有するための課程認定（再課程認定）を受ける場合は、文部科学大臣に再課程認定の申請を行わなければならない。」（文部科学省HPより引用）と定められています。本学部も平成30年度に再課程認定の申請を行い、従来通り教員免許の取得が可能となりました。これに従い入学年度によって履修すべきカリキュラムが異なります。

平成31年度以降入学生 新教職課程にて教員免許状を取得

平成30年度以前入学生 旧教職課程にて教員免許状を取得

旧教職課程にて教員免許状を取得する予定であった平成30年度以前の入学生が、卒業までに教職に関する単位をすべて取得できなかった場合、卒業後は新教職課程が適応されるため、新教職課程に合わせて追加で単位を取得しなければなりません。



新課程で必要な単位(*)について

新教職課程から初めて教職課程に位置づけられる科目は、以下の3科目となります。

- ・「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法」
- ・「特別支援教育論」
- ・「教育方法論」

3. 教職課程

3.1 教職課程の目的

教職課程とは、本学部卒業後、高等学校の教育職員を希望する学生のために、教員免許状を取得させることを目的としています。免許状の種類に応じた資格条件をみたした学生には、大学による一括申請の後、福岡県教育委員会から教員免許状が授与されます。

教職課程科目は、1年次から4年次まで体系的に編成されていますので、必ず1年次から順に履修してください。卒業要件に示された単位の修得とは別に、多数の教職や教科に関する科目を履修しなければならないため、強い学習意欲とこれにふさわしい人間的、知的資質が必要となります。(教職課程の受講のためには、履修登録・受講料その他も必要です)。

なお、卒業所要単位における教職課程科目の単位の扱い方については、各学科の規定に従ってください。

3.2 教員免許状の種類

本学部で取得できる免許状の種類とその教科を表3.1に示します。

学部での1種免許状取得者が大学院に在籍し、教職科目として認定された所定の単位「24単位」を修得した場合、専修免許状が取得できます。(表3.2参照)。詳細は大学院研究科長および学生支援課の指導に従ってください。

表3.1 本学部で取得できる免許状の種類および教科

学 科	教員免許状の種類および教科			本書での略称
生物環境 化学科	高等学校教諭	1種免許状	理科	高校理科
	高等学校教諭	1種免許状	工業	高校工業
電気電子 工学科	高等学校教諭	1種免許状	情報	高校情報
	高等学校教諭	1種免許状	工業	高校工業
建築・デザ イン学科	高等学校教諭	1種免許状	工業	高校工業
情報学科	高等学校教諭	1種免許状	情報	高校情報
	高等学校教諭	1種免許状	工業	高校工業
経営ビジネス 学科	高等学校教諭	1種免許状	商業	高校商業

表3.2 本学大学院産業理工学研究科で取得できる専修免許状の種類および教科

専 攻	教員免許状の種類および教科
産業理工学専攻	高等学校教諭 専修免許状 工業

3.3 受講手続き

教職課程の受講に関する説明は、教職ガイダンスで行いますが、受講希望学生は本章の説明を各自熟読してください。

(1) 教職課程の受講登録

「教職課程履修受講申込書」を学生支援課で受け取り、申請してください。

年度毎に毎年、Web履修申請にて履修登録を行ってください。

(2) 教職課程の受講料

教職課程を受講するにあたっては、教職課程の受講料を毎年度納入するとともに、教育実習と、教員免許申請用単位取得証明書発行に要する費用が必要となります。

「教職課程履修受講申込書」及び、「教職課程受講料用紙」を学生支援課で受け取り、教職課程受講料の証紙を購入し学生支援課にて手続きを行ってください。

3.4 授業科目

教職課程では教員免許状取得に必要な以下(表3.3)の科目を開講しています。なお、教職課程科目とは、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の2つの科目分野を含みます。

表3.3 教職課程における授業科目の構成

授業科目	内 容
教科及び教科の指導法に関する科目	取得を希望する免許科目に応じて、修得しなければならない専門分野に関する科目（表3.7～表3.11参照）
教育の基礎的理解に関する科目等	免許教科の種類に関係なく共通して、修得しなければならない教育理論や教科指導法などに関する科目（表3.6参照）

3.5 所要資格と修得単位数

高等学校1種免許状を取得するためには、表3.4に示すような基礎資格と所定の単位数を修得することが必要です。なお、これは教育職員免許法に基づいて定めた本学部の規定によるものです。

表3.4 免許状取得に必要な基礎資格と最低取得単位数

教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			基礎資格 教育職員免許法施行規則第66条の6
	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	
24	10	8	5	8

3.6 教科及び教科の指導法に関する科目とその履修方法

(1) 開講されている科目

教科及び教科の指導法に関する科目として各学科で開講されている科目は、表3.7～3.11の通りです。

(2) 履修方法

教職必修科目と教職選択科目の単位数を合計して40単位以上修得することが必要です。

履修すべき教科及び教科の指導法に関する科目は、免許状の種類によって異なります。

3.7 教職課程で履修しなければならない必修科目

教育職員免許法施行規則66条の6に従って、表3.5の諸科目が教職課程の学生には必修となります。

3.8 教育の基礎的理解に関する科目等とその履修方法

教育の基礎的理解に関する科目等として開講されている科目は、表3.6の通りです。教育の基礎的理解に関する科目等は、上級履修と他学科履修はできません。

表3.5教職課程の必修「教養・基礎教育部門」(全学科共通)

教育職員免許法施行規則第66条の6

○：教職必修科目

	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	必修・選択	単位数	配当学年	備考
第66条の6	日本国憲法	2 暮らしの中の憲法	○	2	2・3年	
	体育	2 生涯スポーツⅠ	○	1	2年	
		2 生涯スポーツⅡ	○	1	2年	
	英語コミュニケーション	2 インタラクティブ英語Ⅰ	○	1	2年	
		2 インタラクティブ英語Ⅱ	○	1	2年	
情報機器の操作	2 情報処理Ⅰ	○	2	1年		

表3.6 教職課程の必修「教職に関する開講科目」(全学科共通)

教育の基礎的理解に関する科目等

○：教職必修科目

	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	必修・選択	単位数	配当学年	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	○	2	1年	教育実習参加の必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	○	2	1年	同上
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	○	2	2年	同上
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	○	2	1年	同上
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	○	2	2年	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	○	2	2年	
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	○	2	2年	
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	○	2	3年	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	○	2	3年		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習	○	2	4年	期間は2週間
	教育実習	3 教育実習指導	○	1	3・4年	教育実習参加の必修科目 3年後期、4年後期に受ま かけての受ま す。
	教職実践演習	2 教職実践演習(高等学校)	○	2	4年	

教科及び教科の指導法に関する科目

表3.7(a) 生物環境化学科（高校工業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の関係科目	物理化学Ⅰ	○	2	
		無機化学Ⅰ	○	2	
		分析化学	○	2	
		有機化学Ⅰ	○	2	
		高分子合成化学	△	2	
		高分子物性	△	2	
		食品衛生学	△	2	
		資源エネルギー化学	△	2	
		有機合成化学	△	2	
		生体機能分子化学	△	2	
		先端有機材料化学	△	2	
		分光分析法	△	2	
		化学と安全	△	2	
		先端無機材料化学	△	2	
		公害防止管理	△	2	
		環境バイオテクノロジー	△	2	
		バイオセンシング	△	2	
		遺伝子工学	△	2	
		食品化学	△	2	
		環境化学実験	○	3	
		生物化学実験	○	3	
物質化学実験	○	3			
生物環境化学実験	○	3			
職業指導	職業指導	○	4		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		工業科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目
		工業科教育法Ⅱ	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.7(b) 生物環境化学科（高校理科）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考	
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学Ⅰ	○	2		
		物理学Ⅱ	○	2		
		物理化学Ⅱ	○	2		
		分子シミュレーション	△	2		
		固体化学	△	2		
	化学	無機化学Ⅱ	○	2		
		有機化学Ⅱ	○	2		
		環境材料化学	△	2		
		アカデミック有機化学Ⅱ	△	2		
		生物有機化学	△	2		
	生物学	環境生物学	△	2		
		生物学Ⅰ	○	2		
		生物学Ⅱ	○	2		
		生物化学Ⅰ	△	2		
		生物化学Ⅱ	△	2		
	地学	微生物学	△	2		
		微生物バイオテクノロジー	△	2		
		地学概論	○	4		
		「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、 化学実験（コンピュータ活用を含む。）、 生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、 地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	生物環境化学基礎実験	○	3	
			生物化学基礎実験	○	3	
		環境化学基礎実験	○	3		
	物質化学基礎実験	○	3			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		理科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目	
		理科教育法Ⅱ	○	2	同上	

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

●「生物環境化学科」- 高校工業と高校理科の免許状を2つとも取得可能です。

表3.8(a) 電気電子工学科（高校工業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する事項	工業の関係科目	電磁気学Ⅰ	○	2	
		電磁気学Ⅱ	△	2	
		電気回路Ⅰ	○	2	
		電気回路Ⅰ演習	○	2	
		電気回路Ⅱ	○	2	
		電気回路Ⅲ	△	2	
		電子回路Ⅰ	○	2	
		電子回路Ⅰ演習	○	2	
		電子回路Ⅱ	△	2	
		電子回路設計	△	2	
		エレクトロニクス概論	○	2	
		計測工学	○	2	
		集積回路	△	2	
		電磁波工学	△	2	
		無線通信工学	△	2	
		電気材料物性	△	2	
		半導体工学	△	2	
		発変電工学	△	2	
		送配電工学	△	2	
		電気機器	△	2	
		パワーエレクトロニクス	△	2	
		電力システム概論	△	2	
		電気法規・施設管理	△	2	
		電機設計・製図	△	2	
		エネルギー環境システム	△	2	
		電気工学基礎実験Ⅰ	○	2	
		電気工学基礎実験Ⅱ	○	2	
		電気電子情報工学実験Ⅰ	○	2	
		電気電子情報工学実験Ⅱ	○	2	
	電子情報設計プロジェクト	△	2		
職業指導	○	4			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		工業科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目
		工業科教育法Ⅱ	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.8(b) 電気電子工学科（高校情報）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する事項	情報社会・情報倫理	情報社会と倫理	○	2	
		情報と法	○	2	
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	コンピュータ概論	○	2	
		論理回路	○	2	
		論理回路演習	△	2	
		システムプログラミング	○	2	
		プログラミング	○	2	
		プログラミング演習	○	2	
		制御工学	△	2	
	情報システム（実習を含む。）	ロボティクス	○	2	
		データ処理とプログラミング	○	2	
		計算機システム	○	2	
		組込み制御	△	2	
		情報センシング	△	2	
		情報通信ネットワーク	○	2	
		情報通信工学	○	2	
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	情報ネットワーク	○	2	
		マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	○	2	
		情報メディア工学	○	2	
		シミュレーション	○	2	
情報と職業	○	2			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		情報科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目
		情報科教育法Ⅱ	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

●「電気電子工学科」- 高校工業と高校情報の免許状を2つとも取得可能です。

表3.9 建築・デザイン学科（高校工業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	工業の関係科目	静定構造力学Ⅰ及び演習	○	3	
		静定構造力学Ⅱ及び演習	△	3	
		不静定構造力学及び演習	△	3	
		建築と構造	○	2	
		鉄筋コンクリート構造	△	2	
		建築材料	○	2	
		施工法Ⅰ	○	2	
		環境概論	○	2	
		建築と環境	△	2	
		建築設備の基礎	○	2	
		環境とデザイン	○	2	
		近現代建築論	△	2	
		住まいの計画	△	2	
		建築計画	△	2	
		都市計画	△	2	
		インテリアデザイン演習	△	3	
		視覚表現演習	△	3	
		プレゼンテーション演習	△	3	
		建築・デザイン演習Ⅰ	○	3	
		建築・デザイン演習Ⅱ	○	3	
		建築設計Ⅰ	○	3	
		CADトレーニング	△	2	
		建築工学実験	△	2	
		建築法規	○	2	
		職業指導	○	4	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		工業科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目
		工業科教育法Ⅱ	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.10(a) 情報学科 (高校工業)

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する事項 教科に関する専門的事項	工業の関係科目	コンピュータ概論Ⅰ	○	2	
		コンピュータ概論Ⅱ	○	2	
		応用数学	△	2	
		情報数学	△	2	
		情報数学演習	△	2	
		統計ソフトウェアⅠ	△	2	
		統計ソフトウェアⅡ	△	2	
		計算の複雑さ	△	2	
		多変量解析	△	2	
		アドバンスドプログラミング	△	4	
		知識工学	△	2	
		知識工学演習	△	2	
		深層学習	△	2	
		データマイニングと可視化	△	2	
		プロジェクト管理	△	2	
		Webコンテンツ企画設計	△	2	
		プロダクションワーク	△	2	
		データサイエンス	△	2	
		データ分析演習	△	2	
	情報学プロジェクトⅠ	○	2		
情報学プロジェクトⅡ	○	2			
職業指導	○	4			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		工業科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目
		工業科教育法Ⅱ	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.10(b) 情報学科 (高校情報)

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する事項 教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	情報社会と倫理	○	2	
		情報と法	○	2	
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	情報学概論	○	2	
		ソフトウェア工学	○	2	
		ソフトウェア分析・設計	△	2	
		ソフトウェア開発・展開	△	2	
		ソフトウェア開発演習	△	4	
		データ構造とアルゴリズム	○	2	
		データ構造とアルゴリズム演習	○	2	
		プログラミングⅠ	○	2	
		プログラミングⅡ	△	2	
		オブジェクト指向プログラミング	△	2	
	情報システム (実習を含む。)	オブジェクト指向プログラミング演習	△	2	
		データベース	○	2	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	データベース演習	○	2	
		情報システム概論	○	2	
		コンピュータネットワーク	○	2	
		インターネット工学	○	2	
		ネットワークセキュリティ	○	2	
		ネットワークと通信の理論	△	2	
マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)	インターネット工学演習	△	2		
	ネットワークセキュリティ演習	△	4		
	コンピュータグラフィックス	△	2		
	Webコンテンツ制作	△	2		
	画像処理	△	2		
	映像表現	△	2		
	コンピュータ音楽	△	2		
	マルチメディア	△	2		
シミュレーション	△	2			
情報と職業	情報と職業	○	2		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		情報科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目
		情報科教育法Ⅱ	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

●「情報学科」- 高校工業と高校情報の免許状を2つとも取得可能です。

表3.11 経営ビジネス学科（高校商業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考	
教科及び教科の指導法に関する科目	商業の関係科目	基礎経済学	○	2		
		基礎経営学	○	2		
		地域経済分析	△	2		
		財務諸表論Ⅰ	△	2		
		財務諸表論Ⅱ	△	2		
		経営分析	△	2		
		企業論	△	2		
		経営戦略論	○	2		
		経営管理論	○	2		
		基礎流通論	○	2		
		マーケティング論	○	2		
		流通システム論	△	2		
		ビジネス英語基礎	△	2		
		ビジネス英語	△	2		
		会社法	△	2		
		税法Ⅰ	△	2		
		税法Ⅱ	△	2		
		基礎簿記Ⅰ	○	2		
		基礎簿記Ⅱ	△	2		
		会計学	△	2		
		原価管理	△	2		
		税務会計	△	2		
		会計処理演習	△	2		
		基礎情報システム論	△	2		
		システムの基礎	○	2		
		職業指導	職業指導（商業）	○		2
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		商業科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目	
		商業科教育法Ⅱ	○	2	同上	

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

3.9 教育実習について

教職課程で学んだ専門知識に基づいて、学校教育の場で教育実践の基礎的訓練を行うことを目的として、教育実習を行います。

ら4年次前期にかけて開講し（集中講義）、合計して1単位分となるので、3年次・4年次ともに必ず履修すること。また、4年次後期の「教職実践演習（高等学校）」を必ず履修すること。

(1) 教育実習の参加資格

教育実習（必修）に参加するためには、下記の①②の条件を満たしていることが必要です。

- ①教育実習の実施年度（4年次）までに「教職論」、「教育心理学」、「教育学概論」、「教育行政学」、「該当する教科教育法Ⅰ、Ⅱ」の単位を修得していること。
- ②「教育実習ガイダンス」（3年次4月に行う）に出席し、「教育実習指導」を受講中であること。
なお、この「教育実習指導」は、3年次後期か

(2) 教育実習の概要

広義の教育実習は、次の表3.12の3つから成り立ちます。

表3.12 教育実習の概要

	内 容	場 所
1. 実習事前指導	教育実習の方法や実習に際しての心得、諸注意等に関する講義	本 校
2. 実習校実習	高等学校の教育活動全般について観察・参加・実習を行う 各校の実情に即した指導計画の編成	実習校
3. 実習事後指導	実習中の諸問題についての討議、および教育実習全体のまとめ	本 校

教育実習の成績は実習校の校長と指導教員の採点を主とし、ガイダンス、事前授業、実習関係の提出物、反省会などを含めて総合的に評価します。

※ 教育実習校は、原則として各学生の出身校に依頼するので、母校の恩師との親しい関係を保っておいてください。

(3) 教育実習の時期と期間

実習は通常5月から10月頃までの期間、実習予定校の指示に従って、約2週間程度行われます。

(4) 教育実習校の依頼

教育実習は原則として各学生の出身校で行います。(これを「母校実習」と呼びます)。

学内で行われる「教育実習ガイダンス」(第3年次4月に行う)に基づき、第3年次のゴールデンウィークまたは夏季休暇中に各自母校に自身で実習依頼の交渉を行ってください。

[教育実習校の依頼に関する注意事項]

- ①交渉に入るまでに「教育実習実施要領(「教育実習ガイダンス」で配布)を熟読し、本学の教育内容の概要をよく理解しておきましょう。
- ②依頼の交渉にあたっては、教育実習生の受け入れがその学校にとって大きな負担であることを十分にわきまえ、謙虚で丁寧な態度で相談してください。
- ③特定の教員との話し合いだけでなく、必ず校長まで話を通し、担当教員や日程などが職員会議で正式に審議された後に内諾を得ることが大切です。

④交渉の結果、内諾が得られた後に大学から正式の依頼状を実習校宛に郵送します。

⑤第4年次4月の時点で実習参加資格(「3.9教育実習について(1)教育実習の参加資格」を参照)を満たせなかった者、やむをえない正当な理由で実習参加を断念する者は、その旨を学生支援課に連絡し、依頼済みの実習校に対して「実習取消の連絡」を必ず責任を持って行ってください。

なお、第4年次4月に教育実習の参加資格を満たした実習参加者氏名を発表します。

(5) 教育実習の心得

教育実習に参加するにあたっての全般的な心得と実習開始前および期間中の心得を下記に示します。

[全般的心得]

- ①学校の教育活動は成長過程にある生徒の人格形成を目指して行われるものです。従って、生徒の人格の尊重、生徒に対する愛情、そして教育に対する熱意が非常に大切となります。
- ②教職課程の履修については様々な動機があるにしても、教育実習を単に教育職員免許状取得のための一過程であるとか、「とれるものならっておこう」という安易な考え方でとらえることは慎まなければなりません。それは教育実習が教育のまねごとや授業の練習ではなく、まさに真実の教育活動そのものだからです。たとえ実際には教職に就かない場合も、実習にあたっては、教師になろうとする者のもつべき心構えや態度をわきまえ、責任を自覚して自己に対して厳しくあるべきです。
- ③教育の実際についてほとんど未経験である教育実習生が、わずか2週間の実習で教育活動のあらゆる領域を経験することは非常に困難です。したがって担当教員の指導助言を謙虚に受け、実習校の教育方針、教育計画に従って実習活動をすすめなければなりません。
- ④実習校での服装、および実習校の校長や教職員に対する礼儀・言葉遣い・動作は大学生にふさわしいものとしてください。また、生徒に対しては教師としての自信と誠意のある態度で接することが望まれます。
- ⑤実習期間中の健康維持にくれぐれも注意してください。

[実習開始前の心得]

- ①母校実習開始前までに、本学において「教育実習指導」の講義を行います。これに欠席したり書類の交付を受けない者は実習を受けることはできません。
- ②実習校を必ず訪問し通勤所要時間を確かめ、次の事項について打ち合わせておきます。
 - ・実習期間中の勤務時間、教科書の準備
 - ・上履き、弁当などの要否
 - ・その他準備を必要とするもの
- ③やむを得ない理由で指定された期日に出勤できなくなったときは、事前に実習校にその理由を申し出て了解を得てください。それと同時に、学生支援課担当者に報告してください。実習校の特定の教員との個人折衝によって実習期日を変更したり、実習を中途放棄することは許されません。

[実習期間中の心得]

教育実習期間中は、実習校の校長、副校長、教頭、教務主任、指導教員等の指導を謙虚に受け、学校の教育目標・方針や指導目標などを理解し、服務規程等に従うとともに、[近畿大学の学生としての自覚と誇り]を持って良識ある行動、態度、熱意、意欲を示してください。

教育実習期間中に服務に問題がある場合は、中途であっても実習の中止を命ずることがあります。

(a) 勤務

- ①教育実習期間中は、教員の服務に準じます。
- ②出校したら直ちに、「教育実習生出席簿」に押印します。
- ③教育実習生は、実習校の教職員の指示に従ってください。
- ④病気その他やむをえない事情により欠席、遅刻、早退する場合は、必ず事前に指導教員に連絡し、欠席届けを提出してください。
民間企業等の就職活動（面接等）による欠席は、認められません。
- ⑤出校後の無断外出は禁止されます。外出が必要な場合は必ず指導教員の許可を得てください。
- ⑥下校の際は、指導教員に届け出、承認を得てください。
- ⑦実習生控室の整理、整頓を心がけてください。

- ⑧校内の備品、教材・教具、図書、帳簿等を使用するときは、係の教職員の許可を受け、その管理には責任を持ち、使用後は所定の位置に返却し、係の教職員の承認を得てください。
- ⑨「教育実習日誌」は、毎日下校前に必ず指導教員へ提出し指導を受けてください。
- ⑩服装、言動等については、常に生徒の基本的な生活習慣の模範となるように心がけてください。
- ⑪生徒との私的交際や生徒随伴、無断家庭訪問や家庭への連絡は行なってはなりません。
- ⑫いかなる場合でも、生徒に対する暴力行為、体罰、いじめ、精神的・身体的な苦痛、いやがらせ、無視等は禁止されます。
問題が生じた場合は、直ちに指導教員等に連絡・届出し指導を受けてください。
実習校にあっては、実習期間中、校長・副校長・教頭・教務主任・教育実習係教員、指導教員（教科担当教員、学級担任）、学年主任、特別活動係教員、部活動顧問、生徒指導主事、事務長など、多くの教職員の方が携われます。学校の組織体制を早く認識・理解し、充実した教育実習となるよう努めてください。

(b) 教科指導

- ①教育実習期間中を前期・中期・後期に分け、それぞれを「観察」「参加」「実習」の形態になるように、緻密な計画を立ててください。
「観察」生徒の実態や教師の指導などを客観的に観察して、学校教育を総合的に認識・理解することに心がけてください。（模範授業の観察）
「参加」指導教員の下に多様な教育活動に積極的に参加し、教師として求められる知識や技術、熱意、態度を修得する実践的な活動をしてください。（実習授業の実践）
「実習」教科の学習指導を中心に、学習指導案を作成し授業を行い、最終的には査定のための研究授業（多数の教員が参観）などにより実習評価を受けます。
- ②授業実習にあたっては、「教科書を教える」のではなく、「教科書で教える」ように、教材研究に万全を期し、持てる力（知識、技能、意欲、関心、表現、判断など）を発揮してください。
- ③公正で明朗な指導を心がけてください。

- ④教材研究や授業において、理解していない不明な箇所がある場合は、指導教員などに指導を受け、明確にするように心がけてください。
- ⑤器具、機器や薬品などの取り扱いには十分に配慮し、安全の確保に努めてください。
- ⑥授業実践後は、指導教員や他の実習生からの評価を謙虚に受け、その後の工夫改善に生かすよう努力してください。

教科学習指導に偏ることなく、学級活動、特別活動、部活動などにも積極的に参加し、実習の目的や意義を、生徒達と直接交流を重ねるなかで繰り返し問い直してください。

また、その視座を学生の受動的視点から、教師としての能動的視点に転換し、自己の適正、能力を見直す絶好の機会としてください。

(6) 教育実習終了後の諸手続

- ①帰学後直ちに教育実習簿、その他実習校で指示された書類を学生支援課に提出してください。
- ②教育実習簿は、実習終了時に学生に手渡される場合と、後日郵送される場合があります。
- ③実習簿は、教育実習の評価後に、学生支援課から各学生に返却します。
- ④実習校の校長および指導教員に、必ず礼状を郵送してください。

3.10 その他、教職課程に関する履修上の注意事項

(1) 学生への伝達方法

学生に対する公示、告示およびその他の履修上周知を要する事項は、すべて「掲示」によって通知します。常に掲示板を見るように心がけてください。

(2) 提出期限を守ること

諸手続の申し込み期限や各種提出物の提出期限を守ってください。

(3) 出席について

学年のはじめに行なわれるガイダンスには必ず出席してください。

また、3年次の12月～2月と4年次の4月～5月に行われる「教育実習指導」(集中講義)も必ず出席してください。欠席した場合は教育実習に行くことができなくなります。

4. 転学部および転学科、大学院進学

1年間以上在学し、第1学年次の必要単位を修得または修得見込みの者で他学部への転学部または産業理工学部内の他学科への転学科を希望する者は、在学中の成績ならびに選考試験などの結果により許可される場合があります。選考試験は、受験資格や試験内容などを定めた転学部・転学科試験要項に基づいて実施されます。

出願受けは毎年1回2月頃ですが、転学部・転学科試験については1月頃に説明会が行われますので、希望者は必ず説明会に出席して下さい。説明会に欠席した場合は出願が受け付けられない場合がありますので、説明会開催に関する掲示に注意して下さい。

本学部を卒業し、さらに進学を希望する者には近畿大学ならびに他大学の大学院への道が開かれています。

大学院には修士課程（博士前期課程）、さらに博士課程（博士後期課程）があります。修士課程は専門分野における研究能力または高度の専門性を有する職業などに必要な能力を養い、博士後期課程では研究者として独立することを目的とします。修業年限はそれぞれ2年と3年です。本学部に基づいて産業理工学研究科にも、平成27年に専攻分野に博士後期課程が設置されました。なお、近畿大学の大学院に進学を希望する場合には、在学中の成績が優秀な者には学内推薦や学費免除の制度がありますので、各専攻幹事の教員に相談して下さい。

5. 進路対策講座等および卒業後の進路

5.1 進路対策および資格取得対策講座

本学では、大学教育の成果を社会的活動の領域に反映させ、学生が社会的、経済的に自立できることを支援するために進路対策および下記の資格取得対策講座を開講しています。当講座では、雇用情勢をはじめと

して社会・経済的情勢の変化を学生に伝えるとともに、学生に求められている様々な資格の取得に必要な知識等について講義や演習を実施します。当講座には以下の科目があります。

表5.1.1 開講予定の講座の内容

資格講座名	開講予定	対象学科	案内方法	種類
日商簿記3級	4月	全学科	経営ビジネス学科で受付(有料)	公的
マイクロソフト オフィススペシャリスト	授業(情報処理Ⅰ・Ⅱ)	全学科	各講座の担当教員より説明	民間
ITパスポート	授業(情報処理Ⅲ)と e-Learning	全学科	各講座の担当教員より説明	国家
CGクリエイター検定	プロジェクト研究(一部)	建築・デザイン学科	各講座の担当教員より説明	民間
WEBデザイナー検定	プロジェクト研究(一部)	建築・デザイン学科	各講座の担当教員より説明	民間
基本情報技術者	授業(プロフェッショナル デザイン)	情報学科	各講座の担当教員より説明/掲示	国家
公務員試験対策講座	11月(入門コース/1、2 年生) 5月(教養・専門コース/ 3年生)	全学科	就職係で受付(有料)	—
宅地建物取引士	5月	全学科	就職係で受付(有料)	国家
一級・二級建築士	後期(3年生以上)	建築・デザイン学科	就職係で受付(有料)	国家
色彩検定	プロジェクト研究(一部)	建築・デザイン学科	各講座の担当教員より説明	公的
電気主任技術者	ホームルーム	電気電子工学科	ホームルームで説明	国家
電気工事士	ホームルーム	電気電子工学科	ホームルームで説明	国家
公害防止管理者	授業(公害防止管理)	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
バイオ技術者(中級、上級)	授業(生物環境化学特別講 義Ⅱ)	全学科	各講座の担当教員より説明	民間
危険物取扱者(甲種)	授業(化学と安全)	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
環境計量士	授業(環境計量学)	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
技術士一次	生物環境化学特別講義Ⅰ	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
TOEIC	授業(TOEIC英語)	全学科	各講座の担当教員より説明	民間

【挑戦してみたい その他の資格】

- ・ファイナンシャルプランナー
- ・販売士 (公的資格)
- ・日本漢字能力検定 (公的資格)
- ・カラーコーディネーター (公的資格)
- ・インテリアコーディネーター
- ・環境社会検定(eco検定)
- ・商業施設士補

5.2 キャリア教育

(1) 豊かな未来を求めて

1年生に入学された皆さんは、大学生としての心構えと同時に、社会情勢、国際情勢等を見極めしっかりした履修計画をもとに学業に専念し、豊かな教養と専門的な知識や学力・技術を身につけることが、これから輝かしい人生を歩むために重要となってきます。そのためには、自分にふさわしいキャリアプランを持って進路選択することが大切な要素です。

近年、学生の就職・採用活動日程については、①日本経済団体連合会（以下「経団連」）による「採用選考に関する指針」の策定、②就職問題懇談会による「申合せ」、③関係省庁（内閣官房、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省）による経済団体・業界団体等に対する遵守等の要請、というプロセスによって、毎年度決定されてきましたが、2018年10月、経団連から、中長期的な観点から我が国の採用活動の在り方を議論すべき、大学の教育と企業の姿勢がどうあるべきかを議論すべきといった問題提起と併せて、2020年度（2021年3月）以降に卒業・修了予定の学生の就職・採用活動からは「採用選考に関する指針」を策定しない方針が示されました。

このような見直しに伴い、就職活動の「早期化」「長期化」「多様化」「流動化」がさらに進む中、学修時間等を確保しながら安心して就職活動に取り組むため、低学年次からの準備が必要です。

(2) 1年生・2年生への指導

本学部のキャリア教育は、まず1年次に必修科目「建学のこころ（1単位）」、「ライフデザイン（2単位）」を履修し、自身の性格を見つめ、在学中の目標や将来的なライフプランを描くことからスタートします。選択科目では2年次の「キャリアデザイン（2単位）」、3年次の「就職計画（2単位）」で、就業力（実社会で活躍するために必要な力）を養成します。さらに、将来の自分の夢や目標の実現のためだけでなく、就職にも有利となる「資格取得」のための講座も開講しています。キャリア支援室は、これらの講義・講座を通して、一人ひとりが自分に合った進路を選択できるようサポートしています。

(3) 3年生・4年生への指導

専門スタッフによる本格的な就職支援プログラム

は、3年次の早い時期から下記の要領で実践的に始まります。定期的に行われる就職ガイダンスでは、就職活動の基本から実践までを分かりやすく指導します。同時にSPIや企業研究などの就職試験対策や、4年次に学内企業説明会、採用試験なども実施し、希望の進路を実現できるようバックアップいたします。また、企業での就業体験であるインターンシップも推進しています。

①進路希望の登録と個人面談

3年次前期にユニバによる進路希望登録後、3年次後期に配布される就職（進路）登録カードを3号館1階キャリア支援室（学生支援課 就職係）まで提出して下さい。

就職（進路）登録カードに記された希望進路・就職意識等をもとに、学生との個人面談を実施します。

②就職支援講座の実施

次のような就職支援講座を適宜開催しています。

- ・自己分析講座
- ・業界・職種研究会（キャリアフォーラム）
- ・企業見学会
- ・内定者座談会
- ・選考型インターンシップ対策
- ・エントリーシート・履歴書講座
- ・マナー講座
- ・筆記試験（SPI・WEB試験）対策
- ・面接指導、グループディスカッション対策
- ・学内企業説明会（個別・合同）

※他に就職に関する個別相談も受け付けております。

Ⅱ

附属施設利用の手引

[Ⅱ-1] 図 書 館

[Ⅱ-2] 電算機センター

[II - 1] 図書館

●開館時間

通常

月～金	9:00～19:00
土曜日	9:00～13:00
振替授業日	9:00～17:00

冬期・春期休暇 全学休講時

月～金	9:00～17:00 (土曜日は通常どおり)
-----	------------------------

夏期休暇

月～金	9:00～16:00
-----	------------

●休館日

- ・日曜日 祝日 創立記念日(11月5日)
- ・夏期・冬期休暇中の一定期間
- ・夏期休暇中の土曜日

※開館時間の変更や臨時の休館はその都度、掲示やホームページでお知らせしています。

★図書館ホームページ

<https://www.lib.fuk.kindai.ac.jp>

●利用上の心得と注意

- ・学生証は常に携帯してください。
- ・館内では静粛にし、携帯電話の「通話」、「カメラ」機能の使用など他人の迷惑となる行為はしないでください。
- ・館内は、喫煙及び飲食禁止です。ただし、密閉できるフタ付き容器の持ち込み、利用については場所を指定して認める場合があります。
- ・館内ではルールを守り職員の指示に従ってください。

●貸出

貸出には学生証が必要です。

貸出条件

貸出冊数：10冊まで	貸出期間：15日以内
------------	------------

- ・貸出期間を超えて利用したい時は2回まで更新できます(最大45日)。

貸出期間内に①②どちらからの方法で更新手続きを行ってください。

- ① * Myライブラリーから自分で更新する。
- ② 図書館カウンターで貸出資料と学生証を提示する。

※その資料に予約があったり貸出期間が超過している場合、このサービスは利用できません。

- ・新聞、学術雑誌、ブラウジング雑誌の最新号、“禁帯出”や“館内”ラベルがあるものは貸出できません。

●返却

- ・直接カウンターで返却するか返却ボックスに投函してください。
- ・閉館後は自動ドア脇の“閉館後図書返却口”で返却できます。

※直接書架や“館内閲覧図書返却台”に返しても返却にはなりません。ご注意ください。

- ・ペナルティ
返却が遅れた場合はその日数だけ貸出を停止します。この間新たな貸出や貸出の更新はできません。

●館内利用

- ・館内の資料は全て自由に閲覧できます(開架式)。

◆資料検索

2階カウンター前に検索用パソコンを設置しています。

★ホームページトップ→資料検索→OPAC検索
へタイトルなどのキーワードを入力して検索します。

※検索結果が貸出中の場合は* Myライブラリーから予約できます。

※該当する資料がない場合は* Myライブラリーからリクエストできます。

- ・ブラウジングコーナー、AVブースでCDやDVD等の視聴覚資料の視聴ができます。
- ・ゼミ室(3部屋)…3名以上で利用できます。
- ・各ゼミ室にはWi-Fi環境も整っています。
※ゼミ室を利用したい場合はホームページ(<https://www.lib.fuk.kindai.ac.jp/semi/>)、またはカウンターで申し込んでください。
- ・地域資料室(筑豊地区関連の資料を中心に集めています)…閲覧自由

●コピーサービス

- ・図書館の所蔵資料のみコピーできます。
- ※それ以外のものをコピーした場合は没収します。
返金もできません。

料金(1枚)

モノクロ：10円	カラー：50円
----------	---------

●相互利用

- ・必要な資料が図書館にない場合は他大学の図書館やその資料を利用できます。

※料金は本人負担です。

申請方法

紹介状の発行	図書館に来館してください
文献複写・借用	*Myライブラリーから申請できます

●授業・就職支援

図書館の入口左手にシラバス掲載参考文献・アカデミックスキル関連図書・就職関係・資格関係図書のコーナーがあります。

ぜひ、有効に活用してください。

- ・アカデミックスキル関連図書
レポートの書き方、情報の探し方などについて書かれた資料
- ・シラバス掲載参考文献
今年度のシラバスに掲載されている授業ごとの指定参考書
- ・就職関係
SPIやエントリーシートなどの就職試験に必要な最新の対策本や問題集
- ・資格関係
産業理工学部で取得できる資格試験の問題集

生物環境化学科	技術士（環境部門）・公害防止管理者・環境計量士・上級バイオ技術者・中級バイオ技術者・危険物取扱者等
電気電子工学科	技術士（電気電子部門）・電気主任技術者・電気工事士等
建築・デザイン学科	建築士・技術士（建設部門、衛生工学部門）・建築施工管理技士・商業施設士・建築設備士・インテリアプランナー・インテリアコーディネーター・宅地建物取引士・色彩検定等
情報学科	基本情報技術者・応用情報技術者等
経営ビジネス学科	簿記・税理士・販売士・宅地建物取引士等
その他	TOEIC・語学関連資格・秘書検定・ITパスポート等

*Myライブラリーとは

利用者個人ごとの図書館情報ページです。
自宅など、図書館以外のパソコンやスマホからも利用できます。
利用に際しては、ログイン名（ID）とパスワードが必要です。

*Myライブラリーでできること

ホームページトップ→Myライブラリー→ログイン画面にアクセス ID・パスワードを入力

- 貸出：貸出状況・貸出履歴の確認
(返却期限・貸出冊数と回数)
- 貸出期間の更新
(予約がない場合2回まで)

取寄せ

(無料)：他キャンパスからの図書の借出

相互利用

(有料)：図書の借出

文献複写（論文や図書の一部）

リクエスト：所蔵していない資料の購入

予約：資料検索の結果が“貸出中”の場合

【Ⅱ－２】電算機センター

1. 概要

4号館（図書館・電算棟）の3階全体を「産業理工学部電算機センター」と呼びます。コンピュータ実習や卒業研究などのために、本学部および大学院産業理工学研究科学生なら誰でも利用することが出来ます。利用に際してはログイン名（ID）とパスワードが必要です。

2. 教室

室名	収容人数	備考
ターミナル室1	48名	主に授業で利用
ターミナル室2		
ターミナル室3		
ターミナル室4	20名	少人数用
オープンターミナル室	48名	授業は行わない
リモートターミナル室	-	雑誌の閲覧

どの部屋も授業が行われていない場合は自由に利用できます。

3. 利用時間

室名	平日（月～金）	土曜日
ターミナル室1	9：00～17：00	利用不可
ターミナル室2		
ターミナル室3		
ターミナル室4		
オープンターミナル室	9：00～20：00	不定期
リモートターミナル室	9：00～17：00	利用不可

※授業が行われている場合はこの限りではありません。

休暇中の利用については、そのつどホームページ上に掲示します。

4. ログイン名とパスワードの入手方法

- ①授業で利用する場合：最初の授業時に担当教員よりログイン名とパスワードが配布されます。
- ②授業を受けていない場合：管理室に申し出て受け取ってください。この時、学生証を掲示する必要があります。

5. パスワードの取り扱いについて

パスワードは大切な個人情報のひとつであり、他人に知られないよう厳重に管理してください。また、セキュリティの観点から、定期的にパスワードを変更する事をおすすめします。方法については電算機センターのホームページを参照してください。

パスワードを忘れた場合は、学生証を持って管理室まで問い合わせてください。

6. 17時以降(土曜日は13時以降)の利用について

この時間帯は電算機センター補助員(学部学生で、ビブスを着用し胸に名札を付けています)がオープンターミナル室に2名いますので、質問などがある場合は、補助員に相談してください。適切に対応してもらえます。

7. ネットワークの利用について

電算機センターのシステムはインターネットに接続されていますので、世界中の人たちと電子的な情報伝達、情報交換が行えます。センターでは出来る限りオープンな環境を学生のみなさんに提供したいと考えておりますが、それは学生のみなさんが正しい利用をすることが前提となります。注意事項を守って利用してください。

また、電子メール等の利用方法は、必修の授業科目「情報処理I」で指導します。欠席しないようにしてください。

8. ネットワーク利用上の注意事項

- ①個人やグループまたは組織に対する悪意の中傷や一方的な非難をしない。
- ②プライバシーに関する興味本位の話提供をしない。
- ③音楽ファイル等の著作物をダウンロードするのは違法行為です。

- ④その他、悪用と思われるような行為をしない。
- ⑤ネットワーク利用を安易に考えてはいけません。はなはだしい場合は、刑事事件として罰せられます。

9. 電算機センターに関する情報の入手について

電算機センターの説明は全てホームページに掲載されます。また、利用方法等や新しく導入された機能や、システムの停止案内等もホームページに掲載します。

<http://www.ed.fuk.kindai.ac.jp>

10. 電算機センター使用上の注意

下記事項に違反した場合は、一定期間利用を禁止します。

(1) 飲食物・傘の持ち込み禁止

電子機器の故障の原因となるため、センター内に飲食物および傘を持ち込むことを禁止しています。傘はセンター入り口にある傘立てに入れて下さい。

(2) プリンター用紙を無駄遣いしない

レーザープリンター用紙はセンターが供給しますが、ランニングコストが非常に高いので無駄な出力は控えてください。無駄遣いが目立つ場合は課金制になる可能性があります。印刷は1人年間300枚まで制限されています。

(3) 室内整頓

各自の出したゴミは必ずゴミ箱に入れてください。不要になったプリンター用紙は丸めずにプリンター横に用意された用紙入れに入れてください。

(4) 操作手順を守る

各装置は正しい手順に従って操作してください。もし、壊した場合は弁償してもらう場合があります。

(5) 雑誌や資料の貸し出し

雑誌や資料を借り受ける場合は、管理室で貸出簿に記入してください。

(6) 装置の異常発見

各種の装置を使用中に異常と思われる事態が発生した場合には、直ちに担当教員が管理室に連絡してください。

(7) 違法ダウンロード行為の禁止

著作物などをP2P(Winny, Share, Lime Wire, Cabos)等を用いてダウンロードすることは違法行為です。センター内の通信は全て記録されています。



配置図

1号館

4F



3F



2F



1F

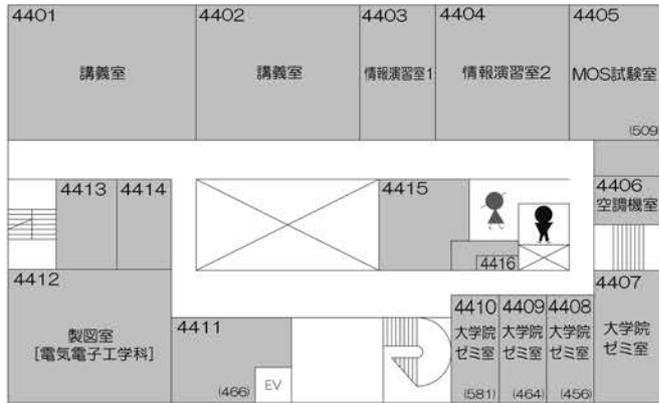


3号館

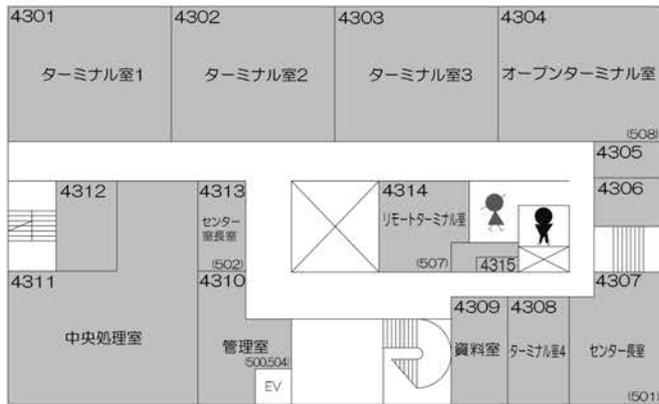


4号館

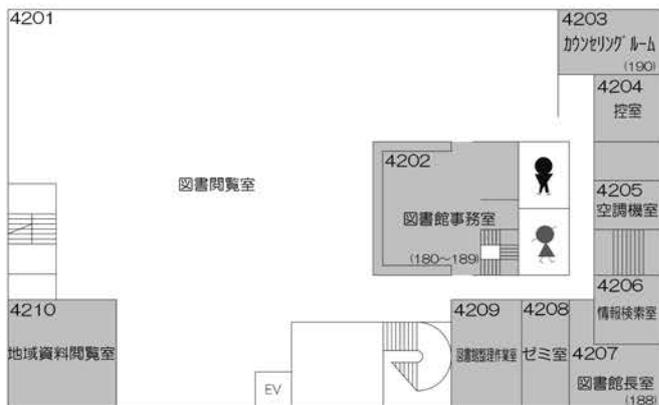
4F



3F



2F

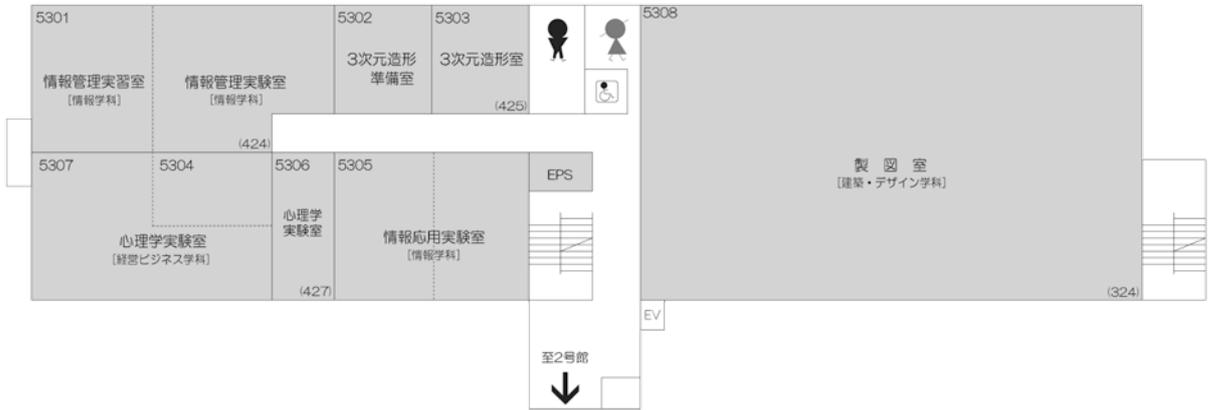


1F



5号館

3F



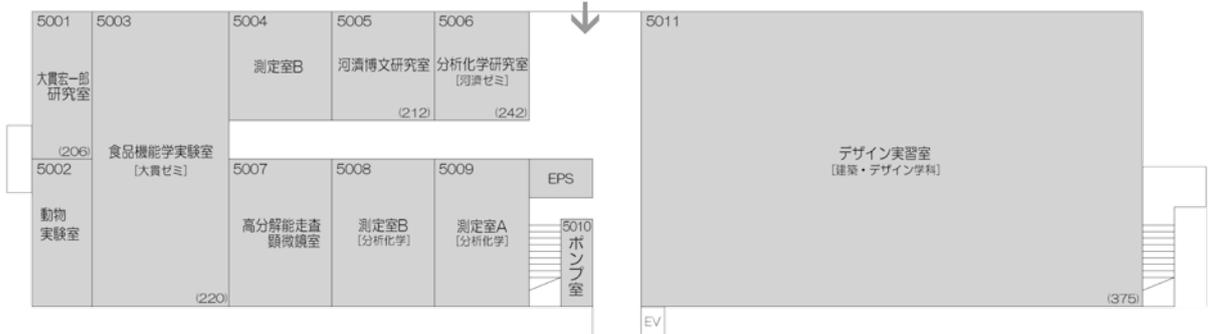
2F

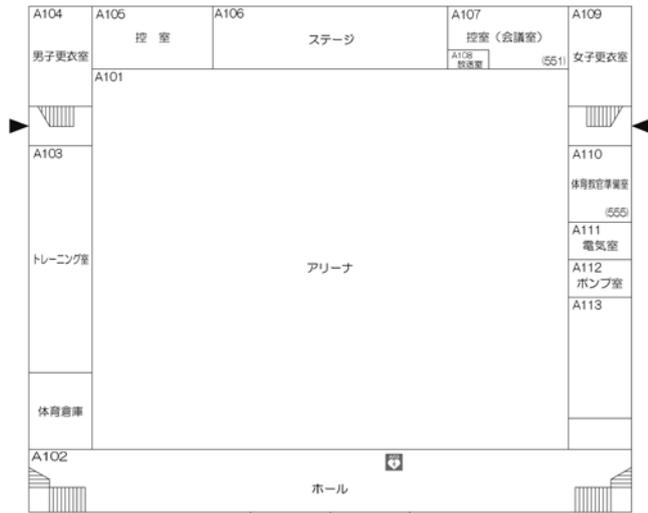


1F

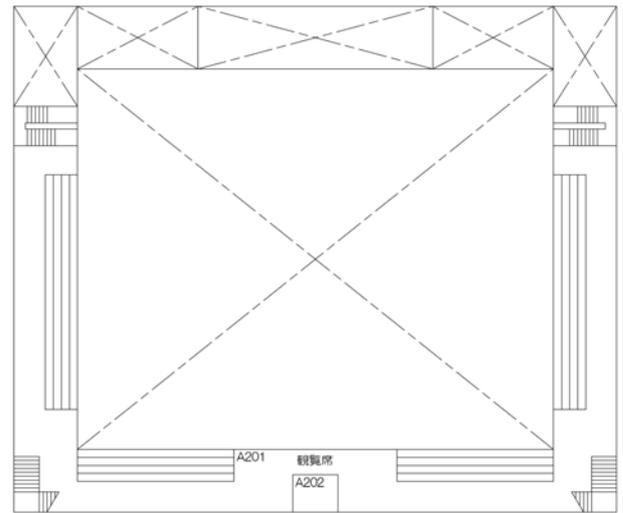


G1F





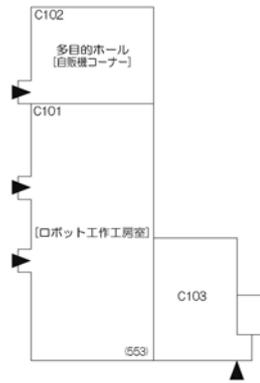
6. 体育館(A棟) 1F



2F



7. トレーニングセンター (B棟)



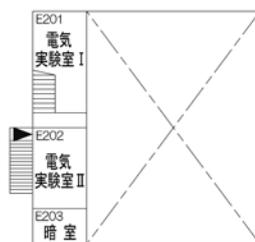
38. 多目的ホール・ロボット工作工房 (C棟)



11. 構造実験室 (D棟)



9. 高電圧実験室 (E棟) 1F



2F



8. 塗装実習室 (F棟)



28. (G棟)



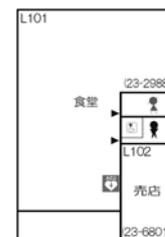
39. ログハウス
[パウヒュッテ] (H棟)



14. 守衛室 (I棟)



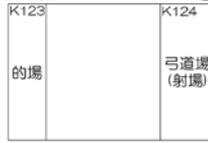
32. 環境実験室 (J棟)



40. 食堂・売店 (L棟)

サークル棟群(K棟群)

26.弓道場(的場) 25.弓道場(射場)



19. 剣道場



18. 倉庫



17. 柔道場



24.倉庫
K140
倉庫

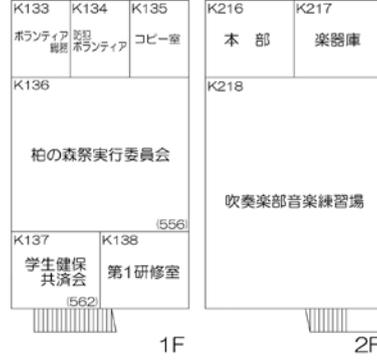
30.第2クラブハウス



20. 陶器研究会部室



23.第3クラブハウス



22.クラブハウス(浴室)



21.クラブハウス(トイレ)



棟	名称
A	体育館
B	トレーニングセンター
C	多目的ホール・ロボット工房
D	構造実験室
E	高度作業室
F	塗装実習室
G	
H	ログハウス
I	守庫室
J	操縦実験室
K(m)	サークル棟群

A棟~K棟(群) 配置略図



近畿大学産業理工学部 配置図

番号	名称	番号	名称
1	1号館	23	第3クラハウス
2	2号館	24	倉庫
3	3号館	25	弓道場(射場)
4	4号館	26	弓道場(約場)
5	5号館	27	温室
6	体育館	28	G棟
7	ヘルモニクセンター	29	
8	塗装実習室	30	第2クラハウス
9	高電圧実験室	31	清掃業者控室
10	旧分子工学研究室(B棟)	32	環境実験室
11	構造実験室	33	
12	有害物質処理室	34	
13	建築材料実験室	35	
14	守衛室	36	
15	旧分子工学研究室(A棟)	37	
16	第1クラハウス	38	多目的ホール・ロボット工作場
17	柔道場	39	ロハウス(バーカウ)
18	倉庫	40	食堂・売店
19	剣道場		
20	陶器研究会別室		
21	クラハウストイレ	☞	まごころ駐車場(6ヶ所)
22	クララ浴室	☞	AED設置箇所(6ヶ所)

履修の手引（令和2年度）

編集 産業理工学部 教務委員会

発行 近畿大学 産業理工学部

印刷 よしみ工産株式会社



A thin vertical line segment located near the bottom left of the page, extending upwards from the horizontal baseline.

A thin horizontal line segment extending across the entire width of the page near the bottom edge.